

たけだ



TAKEDA HOSPITAL

QUARTERLY MAGAZINE TAKEDA

たけだ通信

TAKEDA [No.102] 平成25年6月1日発行



医療法人 財団 康生会

地域医療支援病院・救急告示病院・臨床研修指定病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院

武田病院 ☆

〒600-8558 京都市下京区堀小路通西洞院東入東堀小路町841-5 (JR京都駅前)
TEL.075-361-1351 FAX.075-361-7602

北山武田病院

〒603-8053 京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町99番地 (地下鉄北山駅)
TEL.075-721-1612 FAX.075-701-7399人間ドック健診施設機能評価認定
武田病院健診センター〒600-8216 京都市下京区堀小路通西洞院東入東堀小路町608 日本生命京都三哲ビル3F
TEL.075-365-0325 FAX.075-361-3829

山科武田ラクトクリニック

〒607-8080 京都市山科区竹鼻竹ノ街道町92番地 山科駅前ラクト山科C棟3階
TEL.075-581-0910 (山科武田ラクトクリニック) TEL.075-581-6696 (山科武田ラクト健診センター)
FAX.075-581-0991

タケダ放射線科クリニック 武田病院画像診断センター

〒600-8216 京都市下京区西洞院通堀小路下ル東堀小路町930番地 (JR京都駅前)
TEL.075-361-1680 FAX.075-361-1682 フリーコール 007-77-5588

梶井町放射線診断科クリニック

〒602-0841 京都市上京区御車道通清和院口上る梶井町457番地
TEL.075-950-5751 FAX.075-950-5753

京都駅前武田透析クリニック

〒600-8216 京都市下京区木津屋橋通新町西入東堀小路町606-3-2 三旺京都駅前ビル6階
TEL.075-351-9200 FAX.075-351-9201

康生会クリニック

〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚ノ棚下る油小路町277
TEL.075-354-7227 FAX.075-354-7228

柳馬場武田クリニック

〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町407番地 シティハウス407 1F
TEL.075-213-2216 FAX.075-213-2217

京都壬生苑診療所

〒604-8821 京都市中京区壬生郷ノ宮町31番地
TEL.075-823-3371 FAX.075-822-6550

柳馬場訪問看護ステーション ☆

〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町407番地 シティハウス407 1F
TEL.075-212-7266 FAX.075-212-7321

たけだホームヘルプサービス ☆

〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町407番地 シティハウス407 1F
TEL.075-211-5999 FAX.075-213-2217

京都市 下京・中部 地域包括支援センター

高齢サポート・下京中部 ☆

〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚棚下る油小路町288番地 井筒堀川ビル1階
TEL.075-361-2141 FAX.075-361-2145

医療法人 財団 医道会

救急告示病院・開放型病院・回復期リハビリテーション病棟・日本医療機能評価機構認定病院

十条武田リハビリテーション病院

〒601-8325 京都市南区吉祥院八反田町32 (十条新千本角)
TEL.075-671-2351 FAX.075-671-2961

十条訪問看護ステーション ☆

〒601-8325 京都市南区吉祥院八反田町32
TEL.075-671-2415 FAX.075-671-2435

緩和ケア病棟・日本医療機能評価機構認定病院

稲荷山武田病院

〒612-0801 京都市伏見区深草正覚町27番地 (京阪烏羽街道駅)
TEL.075-541-3371 FAX.075-532-5115

医療法人 財団 宮津康生会

宮津武田病院

〒626-0041 京都府宮津市鶴賀2059番地の1 (北近畿タンゴ鉄道宮津駅)
TEL.0772-22-2157 FAX.0772-22-1125

救急告示病院・臨床研修指定病院・歯科医師臨床研修指定病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院・人間ドック健診施設機能評価認定

宇治武田病院

〒611-0021 京都府宇治市宇治里尻36-26 (JR宇治駅前)
TEL.0774-25-2500 FAX.0774-25-2353

指定介護療養型医療施設

木津屋橋武田病院 ☆

〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚棚下る油小路町293番地
TEL.075-343-1766 FAX.075-343-5739

たけだ診療所 (免疫・遺伝子クリニック)

財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター 関連施設
〒600-8216 京都市下京区木津屋橋通新町西入東堀小路町606-3-2 三旺京都駅前ビル1階
TEL.075-351-8282 FAX.075-351-8448

医療法人 医仁会

救急告示病院・臨床研修指定病院・歯科医師臨床研修指定病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院・京都府がん診療推進病院

医仁会武田総合病院

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町 28-1 (地下鉄石田駅・外環状線沿)
TEL.075-572-6331 FAX.075-571-8877

指定管理者 医療法人 医仁会 救急告示病院

精華町国民健康保険病院

〒619-0241 京都府相楽郡精華町祝園砂子田7番地 (JR 祝園駅・近鉄新祝園駅)
TEL.0774-94-2076 FAX.0774-93-2818

附属施設/医仁会武田総合病院リハビリセンター

〒601-1439 京都市伏見区石田森南町27-1
TEL.075-572-5139 FAX.075-571-8877

疾病予防センター

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町28-1
TEL.075-572-6365

武田クリニック [血液透析センター]

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町33-6
TEL.075-572-6984 FAX.075-572-6218

老人保健施設 白寿 ※☆

〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地
TEL.075-572-8207 FAX.075-572-8726

京都市下京区地域介護予防推進センター

〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚棚下る油小路町288番地 井筒堀川ビル1階
TEL.075-361-1060 FAX.075-361-0901

老人保健施設 いわやの里 ※☆

〒607-8177 京都市山科区大宅古海道町52
TEL.075-572-1811 FAX.075-572-1880

指定管理者 医療法人 医仁会

辰巳診療所

〒601-1345 京都市伏見区醍醐外山街道町21
TEL.075-571-8545 FAX.075-571-8555

おもいやり訪問看護ステーション ☆

〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地
TEL.075-574-1621 FAX.075-574-1622

京都市 醍醐・南部 地域包括支援センター

高齢サポート・醍醐南部 ☆

〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地
TEL.075-572-6572 FAX.075-575-4738

社会福祉法人 青谷福祉会

軽費老人ホーム ヴィラ城陽 ※☆

〒610-0114 京都府城陽市市迎原 1番地
TEL.0774-55-1875 FAX.0774-54-3321

訪問介護ステーション ヴィラ城陽 ※☆

〒610-0102 京都府城陽市久世芝ヶ原6番地の2
TEL.0774-56-2530 FAX.0774-56-2531

特別養護老人ホーム ヴィラ山科 ※☆

ヴィラ山科老人デイサービスセンター ※☆

〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1
TEL.075-572-6677 FAX.075-572-6866

訪問介護ステーション ヴィラ山科 ※☆

〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1
TEL.075-575-5252 FAX.075-575-5055

京都市 大宅 地域包括支援センター

高齢サポート・大宅 ※☆

〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1
TEL.075-572-6660 FAX.075-575-5055

加茂町高齢者福祉センター

特別養護老人ホーム 加茂の里 ※☆

ケアハウス あじさい ※☆

デイサービスセンター 加茂の里 ※☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3 (JR加茂駅前)
TEL.0774-76-7607 FAX.0774-76-7802

加茂町在宅介護支援センター 加茂の里 ※☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3 (JR加茂駅前)
TEL.FAX.0774-76-8294

訪問看護ステーション あじさい ※☆

訪問介護ステーション 加茂の里 ※☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東二丁目2番地1 ユニ加茂老番館 (JR加茂駅前)
TEL.0774-76-0233 FAX.0774-76-8461

特別養護老人ホーム ヴィラ稲荷山 ※☆

ヴィラ稲荷山デイサービスセンター ※☆

〒612-0801 京都市伏見区深草正覚町23番
TEL.075-561-6550 FAX.075-561-6552

三條小川デイサービスセンター ☆

〒604-8246 京都市中京区小川通三條下ル堀ヶ町124
TEL.075-254-1106 FAX.075-254-1107

社会福祉法人 悠仁福祉会

特別養護老人ホーム ヴィラ鳳凰 ※☆

ケアハウスやまぶき ※☆

デイサービスセンター ヴィラ鳳凰 ※☆

〒611-0021 京都府宇治市宇治里尻36-35
TEL.0774-25-2577 FAX.0774-25-2788※京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構による第三者評価受診施設
☆ISO9001：2008認証

QUARTERLY MAGAZINE TAKEDA

たけだ通信

TAKEDA [No.102] 平成25年6月1日発行

武田病院グループでは、環境保全活動に取り組み、CO₂の発生を削減できる水なし印刷及び環境にやさしい植物油インキを採用しています。

June 2013 No. 102

目次

- 02 脳卒中センター・最新鋭の医療機器など
差し迫る医療ニーズに対応し機能を充足
施設の基盤整備でグループの連携も強化 武田 隆久
- 04 「脳卒中センター」を康生会武田病院に開設
充実した体制と最新の治療で地域に貢献します 滝 和郎
- 06 より優しい治療・検査の充実に向け
次世代型の320列CTを導入 川上 光一
- 08 タケダトピックス
武田病院グループのとりくみ
- 10 武田病院グループの機能と役割
- 14 高齢化社会(介護する人・される人) 武田 道子
- 16 明日の医療 武田 隆司
- 18 医療現場にとってのエネルギー危機 武田 隆男
- 20 たけだインフォメーションニュース
- 26 気になる病気Q&A／薄井 裕治、東 義人
- 28 メディカルアドバイス
食物アレルギーの最新事情～食べながら治す～／藤本 雅之
- 30 くすりのお話
「お薬手帳」をお持ちですか?／松井 智子
- 31 キッチン探訪
京野菜を食卓へ／森田 秀之
- 32 ワンポイントフィットネス
健康寿命を延ばすために身体活動を10分増やそう!／鈴木 喜也
- 33 ケアアドバイス
平成24年4月の介護報酬改定を振り返る／小林 啓治
- 34 ナーシングメッセージ
未来の看護を担う後輩たちへつなぐ
ブリッジの会活動報告
- 36 武田病院グループ施設基本情報
- 48 京の医史跡を訪ねて

武田病院グループ 平成24年度の受賞
武田隆久理事長
介護老人保健施設事業功労者 厚生労働大臣表彰
武田道子副理事長
京都府青少年健全育成功労者 知事表彰

今号の表紙 「吉野山 春霞」



経営理念

思いやりの心

私たちは常に思いやりの心を持ち 患者さんに信頼される病院でありたい

私たちは人々の生命の尊厳に対する希求
健康への願いに対するニーズに応え
地域社会に信頼される病院でありたい

私たちはお互いに尊敬と協調の心を持ち
職員相互が信頼しあう病院でありたい

基本方針

Bridge The Gaps

「ブリッジ・ザ・ギャップス(橋をかけよう)」

武田病院グループは
患者さんとの間に思いやりと信頼のかけ橋を
地域社会との間に信義と信頼のかけ橋を
すべての職員に心と心をつなぐ
信頼のかけ橋をつくりあげる
努力を重ねます

患者さんの権利の尊重

私たちは
患者さんの意見・立場を大切にし
インフォームド・コンセントを
尊重します

地球にやさしい環境づくり

武田病院グループは地球環境の保全を
保健・医療・福祉活動
及び関連活動で常に考慮し
地球にやさしい、心がかよう、心が安らぐ
豊かな社会環境の実現に貢献します

信頼の医療に向けて

私たちは、医療とは患者様との「信頼と意思疎通」を原点としていることを深く認識し、
患者様により良い医療を受けていただけるように日々努力を重ねるとともに、次の項目を守り、
患者様の健康管理・治療・療養等にチーム医療で支援します。

- ①患者様の人格・価値観を尊重します。
患者様が治療や検査等を受けるにあたり、ひとりひとりの人格・価値観を尊重し、
相互の信頼・協力関係の下で医療を行います。
- ②良質な医療を平等に提供します。
すべての患者様に対して、良質な医療を平等に、そして、継続的に提供します。
- ③患者様の立場に立ってわかりやすく説明をします。
治療や検査等についての説明や情報の提供に際しては、正確に伝えるだけでなく、
患者様の立場に立ってわかりやすい説明と良好な意思疎通を行って、
理解と合意を得られるように努めます。
- ④患者様の意思を尊重します。
治療や検査等に際し、十分な情報提供と意思疎通を行った上で、相互の信頼・
協力関係の下、治療方法等の選択について、患者様の意思を最大限尊重し
ます。
- ⑤個人情報・プライバシーを厳守します。
患者様の個人情報やプライバシーは厳格に保護します。

「患者さんの権利の尊重」展開 03.07.01

ISO14001自己宣言書

武田病院グループの環境マネジメントシステムがISO14001の規格に適合していることについて自らの責任で決定し、ここに自己宣言します。

武田病院グループは、地球環境保全を保健・医療・福祉活動及び関連活動で常に意識し、
グループの果たすべき重要な課題として捉え、今後も尚一層積極的に環境活動を推進します。

08.12.15 武田病院グループ
理事長 武田 隆久

環境方針

武田病院グループは地球環境の保全を保健・医療・福祉活動及び関連活動で常に考慮し、
地球にやさしい、心がかよう、心が安らぐ豊かな社会環境の実現に貢献します。

また、関連する環境の法規、法令を遵守するとともに
関連団体における環境理念等を尊重し、自然災害等に対する安全、安心を心がけ、
組織的、継続的な改善と汚染予防、循環型社会の形成を推進します。

- ①省資源・省エネルギーの推進
保健・医療・福祉活動及び関連活動における省資源・再生可能なエネルギーの
利用、電気・水等のエネルギー供給の複合化を図るとともに省エネルギーを
推進する。
- ②廃棄物の3R(減らす、再利用、再資源化)の推進
保健・医療・福祉活動及び関連活動によって発生する廃棄物の3Rを推進する。
購入の段階で環境保全に貢献できる再利用可能な材料・商品等を積極的に取
り入れる。また、医療廃棄物の処理・廃棄については、厳重に管理する。
- ③安全性・快適性の推進
自然災害に対応した地域との連携、施設機能の継続に向けた改善を図り、医
療機器、薬品、食料の備蓄等を含む安全性と汚染予防の確保及び施設環境の
快適性を推進する。
- ④環境広報活動の推進
環境方針・目的の職員への周知徹底及び利害関係者等とのコミュニケーション
を目的とした環境広報活動を推進する。

環境方針書No.2 11.08.01 武田病院グループ
理事長 武田 隆久



マルチレイアウト大型モニタ付き脳血管造影装置

このことは、造影剤の使用量を減らせられることにもつながります。肝臓・腎臓・甲状腺等に疾患があり、ヨード造影剤に課題のあるケースでも、量を減らすことで適用が考えられるなど、当グループでは様々な可能性を探っていく考えです。

これまで京都駅前医療機能の集約を図ってきた当グループでは、このほど、康生会武田病院の透析ベッドを、京都駅前武田透析クリニックに移しました。これで、クリニックでは完全個室タイプ4床、準個室タイプ36床の合計40床となりました。地域の末期腎不全医療に貢献するため、さらなる質の高い透析治療の提供をめざします。

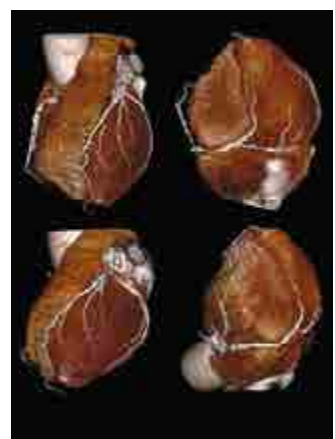
また、当グループでは、運営管理者を明確にし、地域の皆様との親しみを深めて戴くため、病院・クリニックの名

近年の検査機器の要の一つとなっているCT撮影装置。医仁会武田総合病院ではこのほど、最新式の320列CT「Aquilion ONE / VISION Edition」を導入しました。

「VISION Edition」は、近畿地域ではまだ2台しか導入されていない最新機種で、従来型のCT撮影では困難なケースでも幅広く対応できるのが大きな特徴です。



320列CT「Aquilion ONE / VISION Edition」



撮影画像

最新鋭の320列CTを導入 造影剤の使用量減少も検討

毎年13万人の方が亡くなる「脳卒中」。脳の血管が詰まる「脳梗塞」、脳の血管が破れる「脳出血」やくも膜と軟膜の間の動脈瘤が破れる「くも膜下出血」などがこの代表例です。

近年の傾向としては、脂質異常症や糖尿病などが増えたため、血管が

詰まる脳梗塞の発症比率が増加する傾向にあります。また、くも膜下出血を発症した患者さんの3分の2は、死亡されるか重い後遺症となってしまうなど、脳卒中は恐ろしい疾患なのです。

このように、従来は適用できなかった治療や検査が出来るようになった

り、これまで以上に患者さんのご負担を減らせるなど、医療分野の技術革新は日進月歩です。当グループは、地域に最新の医療環境を提供できるよう、今後も努めてまいります。

康生会武田病院 脳卒中センターを開設

世界に例のない少子高齢化社会を迎えたわが国では、高齢化に伴う国民医療費の増大と適切な医療提供体制等の確保が大きな課題となっています。持続可能な社会保障制度の実現を掲げる政府は、社会保障制度改革国民会議で「病院介護施設を地域の将来ニーズに合った形へと再編成する」という方針を示しています。社会保障制度を守ることはもちろん重要ですが、しかしながらこの方針は、財政の健全化がそもそもの動機付けとなっているため、本来に必要な医療まで削られてしまうのではないかと大きな懸念があります。我々医療者は、今後も必要な医療を堅持できるように現場の実態や患者さんの声を広く発信し続けていく考えです。これと同時に武田病院グループは、どのような再編にあっても、地域に質の高い医療介護サービスを提供する体制が維持出来るよう、質の向上と組織基盤の強化に努めていく考えです。

することが望ましいのですが、京都市内ではこうした施設がまだわずかしかありません。

タ付きの脳血管造影装置や80列CTなど、最新で高性能な検査機器も備え、より正確な診断・治療につなげていきます。

脳卒中センター！最新鋭の医療機器など 差し迫る医療ニーズに対応し機能を充足 施設の基盤整備でグループの連携も強化

武田病院グループ理事長

武田 隆久



「脳卒中センター」を康生会武田病院に開設 充実した体制と最新の治療で地域に貢献します

脳の血管がつまる「脳梗塞」、脳の血管が破れる「脳出血」「くも膜下出血」などを総称して「脳卒中」と言います。総患者数は137万人を超え、半身麻痺になったり死に至るなど恐ろしい病気です。近年ではこの脳卒中の治療法が目覚しく進化し、死亡率が低下する傾向にあります。康生会武田病院では、こうした脳卒中治療をさらに充実させるべく、この4月に「脳卒中センター」を立ち上げました。

京都駅前脳卒中センター 24時間365日体制で治療

脳卒中は、がんや心筋梗塞とともに3大疾病に数えられる重大な疾患です。ところが京都市内では、脳卒中を専門的に治療できる体制を整えた医療機関は京都大学医学部附属病院や当グループの医仁会武田総合病院などわずかしかなく、さらなる充実が大きな地域課題となっています。

そこでこの4月、6床のSCU(脳卒中集中治療室)による「脳卒中センター」を開設いたしました。

SCUとは危険な状態にある脳卒中の患者さんに対し、医師、看護師、リハビリスタッフらによる医療チームが適

切な包括的治療を組織的に行うものをさします。

当センターにおいては、常勤医師5名、非常勤医師4名体制で24時間365日充実した治療を提供しております。

また、厚生労働省に「脳卒中ケアユニット入院医療管理料」の施設基準の届け出を行い、5月1日からの算定にて受理されました。(脳卒中ケア第6号)

巨大脳動脈瘤など 難易度の高い治療にも対応

当センターの特徴は、①京都大学医学部脳神経外科教室と綿密に連携、②経験豊富な専門スタッフならびに最

運営を行っています。

②と③については、私自身、脳卒中分野の手術症例数が約3000件に達しているほか、今年3月まで三重大学(副学長)で医療機器や医療材料の開発段階から関わるなど、脳神経外科分野で尽力しており、とりわけ手術後の患者さんの負担軽減につながる「血管内治療」に力を注いできました。

ほかにも京都大学脳神経外科非常勤講師も努める当センターの石井曉部長ら優秀な医師による常勤・非常勤9名を擁し、巨大脳動脈瘤や脳動脈奇形など、難易度の高い手術にも対応しながら、24時間365日体制で脳卒中治療にあたっています。

また、処置については、急性期脳梗塞に対するt-PA治療(経静脈血栓溶解療法)やMerci治療(血栓粉砕治療)の実施設となっています。

医療機器については、従来の64列CTから、より高精度な画像解析が可能となった80列CT(東芝製)に更新したほか、京都では初めてマルチレイアウト大型モニター付きの脳血管造影装置(シーメンス製)を導入。このほか手術用顕微鏡や超音波吸引手術装置(CUSA)、術中超音波システム、電気生理学的モニターなど、最新で高性能な検査機器・治療機器を備えています。

このようにスタッフや機器など、あらゆる面から充実した医療提供体制を

整え、安全で患者さんへの負担を減らす努力を行っています。

SCU増床も視野に 質の向上をめざす

ところで近年では、これらの脳卒中の患者さんに対する救急処置だけではなく、深刻な状況を脱した後のリハビリテーションや在宅復帰に向けた早期からの取り組みが重要になってきています。

当センターでの治療後は、十条武田リハビリテーション病院をはじめとした回復期病棟での集中的なリハビリテーションの適応となります。急性期から回復期、生活期まで個々の状態に応じた継ぎ目のない医療介護を提供できるのも、当グループの強みです。

こうしたグループによる連携を背景とし、脳卒中センターの内容・治療成績も充実させ、将来的にはSCUの増床も視野に、さらなる地域への貢献をめざしていきます。



80列CTscan(東芝製)

①の京都大学医学部との連携に

新の医療機器を完備した充実の医療提供体制、③24時間365日体制で高難易度な脳卒中急性期の患者さんも治療可能、などが挙げられます。

康生会武田病院 脳卒中センター
センター長 **滝和郎**



いては、国内の脳神経外科分野をリードする宮本享教授を筆頭に、治療技術に関する研鑽や情報共有、医師の派遣、交流など、さまざまな面でご協力をいただきながら同センターの開設



マルチレイアウト大型モニター付き脳血管造影装置



6床のSCU(脳卒中集中治療室)

より優しい治療・検査の充実に向け 次世代型の320列CTを導入

人体に様々な角度からX線を照射することで、内側の状態を画像として見ることが出来るCTスキャン。めざましい技術革新によって、撮影した臓器を3Dで表示するなど、より正確な容態の把握診断に不可欠な検査機器となっています。今回、医仁会武田総合病院では、最新型の320列CTを導入しました。放射線被ばくを低く抑える次世代型CTの機能と、患者さんに優しい医療を追求する当院の取り組みをご紹介します。

医仁会武田総合病院
放射線科
部長
川上 光一



救急から外来・入院 需要度の増すCT検査

「マルチスライスCT、ヘリカルCT」といった言葉を、皆さんも耳にされるのではないのでしょうか。これは16列、32列など、多くの検出器を並べ、同時に複数の断層画像を撮影する検査機器です。

こうしたCTで撮影された画像は、平面(断面)だけでなく、骨や臓器を立体化した3D映像として再現することが出来ます。分かりやすく正確に体内の様子を把握できるので、医師の診断や患者さんへの説明、医学研究に大きな力を発揮するのです。
当院をみれば、1年間の救急搬送数

広範囲の撮影機能で 適用例を拡大 検査の負担も大きく軽減

従来のCTは、装置が体の周囲を回転しながら、リングの皮むきのように、撮影を繰り返して、それをつなぎ合わせて一つの画像をつくるものでしたが、今回導入した320列CTは、一度に160mmの幅広い範囲を、寝台を移動させることなく1回転(最速0.275秒)で撮影でき、鮮明な画像を得ることが可能です。

心臓のように常に動いている臓器も、従来であれば5〜10心拍を連続で撮影し、必要な位相データをつなぎ合わせて構成していました。本装置では

1心拍(1回転)のみで画像を構成できる事により、不整脈等の影響を受けなくなりました。被ばくも従来の1/3程度にすることが可能です。

また、頭部などの160mm以下の部位でも、寝台を動かさずに撮影できるため、移動させながら数十回転撮影する従来法(ヘリカルスキャン)に比べ、時間的なズレによる偽像などが解消され、撮影の全範囲が同一時相の高精度な画像が撮影できます。

従来、乳幼児のCT検査は撮影中数秒間の静止が必要のため、身体を固定するための麻酔を行って撮影する場合がありますでしたが、320列CTでは1回転の短時間で撮影できるため麻酔を行わなくても撮影でき、負担の軽減



320列CT「Aquilion ONE / ViS DN Edition」

につながりますので乳幼児の検査にとっても有効です。

被ばくを大幅低減する 新たな検査を提供

最新の機能として「低被ばく撮影」が出来ることが大きな特徴です。通常、放射線量を減らすと画像のノイズが多くなり不鮮明になるのですが、技術革新により、少ない放射線量で鮮明な画像を得ることが出来ます。

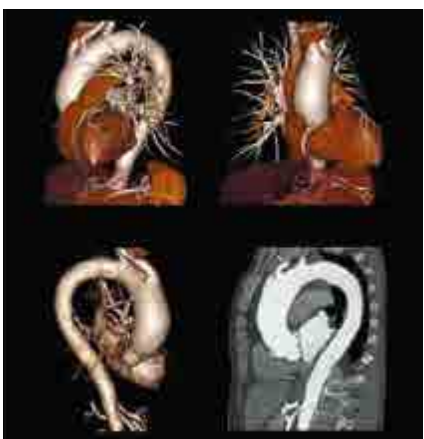
撮影臓器や内容にもよりますが、およそ25%〜75%の被ばく量を抑えることが出来ます。これは次世代のスタンダードになるかもしれません。

こうした被ばくは、患者さんが直接体感することは出来ませんが、私ども放射線科としては、より正確な診断につながる正確な検査画像を提供することと同時に、いかにして患者さんのご負担を軽減できるかを追及していま

幅広い領域で専門性を発揮 地域医療の貢献をめざす

地域に密着した医療を提供する当院では、本当に多くの種類の疾患が対象となります。

医療機関によっては心臓専門など、特定領域を掘り下げる場合もありますが、ここでは幅広い領域をカバーすることが求められます。それも、広く浅く、だと、主治医の先生の期待に応えることは出来ません。あくまでも、広く深く、最適な情報を提供できるように、不断の努力を行っていきます。



↑ ↓ 撮影画像



施設名称変更のご案内

このたび、武田病院グループが管理・運営いたしております病院・クリニックにおきまして、地域の皆様に運営管理者の明確化と地域の皆様との親しみを深め、より一層グループ施設間の連携

強化を行うために、次の通り施設名称を変更することとなりました。今度ともさらなるご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い致します。



医療法人財団医道会
十条武田リハビリテーション病院
(旧名:十条リハビリテーション病院)



医療法人財団康生会
北山武田病院
(旧名:城北病院)



医療法人財団医道会
稲荷山武田病院
(旧名:稲荷山病院)



医療法人財団康生会
山科武田ラクトクリニック
山科武田ラクト健診センター
(旧名:ラクトクリニック ラクト健診センター)

透析ベッドをクリニックに集中 機能分担で医療の質の向上をめざします

医療法人康生会はこのほど、康生会武田病院内の透析ベッドを、京都駅前武田透析クリニックに集中させました。病院は入院・治療、透析クリニックでは良質な透析環境をそれぞれ追求することで、機能分担による医療の質の向上をめざします。

とくに京都駅前武田透析クリニックは、全床が完全個室またはブース型の準個室構造となっており、プライバシーが十分に確保された空間で快適に治療を受けて頂くことができます。また、最新の透析機器や管理システムを備え、経験豊富な専門医やスタッフが、安全な医療の提供に充分配慮しております。

治療のための空間の快適さや居心地のよさは、治療のストレスを軽減し、クオリティ・オブ・ライフ(生活の質)を向上させ、結果として治療意欲の向上、予後改善に繋がると考えています。今後も、多くの透析患者さんが、充実した透析生活を過ごされるためのサポートに尽力してまいります。



第3回「婦人科検診に従事する医療者のための研修会」を開催しました

武田病院グループ婦人科検診協議会(岩崎武輝会長)主催による「婦人科検診に従事する医療者のための研修会」が2月27日(水)午後、メ

病院・健診センターなど6施設から医師、看護師、保健師、放射線技師、検査技師、薬剤師、医事ら各職種53名が参加しました。

近年、20歳代後半〜30歳代にかけて、HPV(ヒト・パピローマウイルス)の感染による子宮頸がんが急増しています。これに対応するため、武田病院グループの同協議会では、最新のワクチンや医療事情を学ぶ研修会を定期的に開催し、検診のレベルアップを図っています。

同協議会の奥村次郎副会長(山科武田ラクト健診センター婦人科)の座長のもと、講演で伴千秋産婦人科具体的な症例を提示しながら子宮頸部病変を示す新たなベセスダ分類の概念を紹介。さらに、アメリカの専門団体による勧告やガイドラインを紹介し、今後の日本の動向について示唆に富んだ推測を語りました。

海外から看護留学生を受け入れ 国際看護交流を推進しています

外国人への看護師国家試験を解禁したわが国ですが、日本語の読み書き能力や看護業務範囲の違いがあるなど、試験ハードルが高いため、合格者が少ないのが現状です。

こうした動きに対し武田病院グループでは、NPO法人国際医療福祉人材育成機構を通じ、独自に2010年度から中国の看護留學生(中国での看護師資格者)を受け入れ、日本の看護師資格が取得できるよう、日本語学習や実地研修(看護師の指導のもと看護助手として実施)など、様々な支援を行っています。

現在では、日本の看護師国家試験に合格した多くの中国人看護師が、当グループの病院で働きながら日本の看護を学んでいます。

このほか、中国大連医科大学と実習協約を結び、今年から見学実習も受け入れるなど、さらなるグローバル化を見据え、国際看護交流に力を注いでいきます。

[受入病院]
医仁会武田総合病院
康生会武田病院
十条武田リハビリテーション病院
宇治武田病院



講演する
伴千秋産婦人科部長
(医仁会武田総合病院)
開会挨拶する協議会の
岩崎武輝会長
(宇治武田病院健診センター
婦人科顧問)



会場の様子



中国大連医科大学からの見学実習風景



武田病院グループの機能と役割

私たちは常に思いやりの心を持ち 信頼される病院グループでありたい

平成25年6月1日現在

画像診断施設・健診センター
免疫治療 健康管理センター・クリニック



柳馬場武田クリニック
【京都市中京区】



京都壬生苑診療所
【京都市中京区】



武田病院健診センター
【京都市下京区】



武田病院画像診断センター
【京都市下京区】



康生会クリニック
【京都市下京区】



京都駅前武田透析クリニック
【京都市下京区】



辰巳診療所
【京都市伏見区】



武田クリニック(血液透析センター)
【京都市伏見区】



山科武田ラクトクリニック・
山科武田ラクト健診センター
【京都市山科区】



梶井町放射線診断科
クリニック
【京都市上京区】



たけだ診療所
(免疫遺伝子クリニック)
【京都市下京区】

予防・健診

健診センター

武田病院健診センターや山科武田ラクト健診センター、PET-CTを2台配備している武田病院画像診断センターをはじめ、各病院では健康管理センターを設け、疾病の早期発見・健康管理に貢献しています。

病 院



救急告示

一般病床

回復期
リハビリテーション病棟

一般病棟
(障害施設等)

療養病床

介護療養

急性期

急性期

回復期

慢性期

救急医療

武田病院・医仁会武田総合病院・宇治武田病院・十条武田リハビリテーション病院・精華町国民健康保険病院は救急告示病院として、専門スタッフおよび設備を整え、24時間体制で救急患者を受け入れています。特に武田病院・医仁会武田総合病院では、脳卒中ケアユニット(SCU)や集中治療室(ICU・CCU)を完備した救急救命の機能を有しています。

総合医療・

各病院とも循環器や消化器など特定の疾患にめ細かく専門性の高い医療の提供に努めています。また急性期を脱した患者さんが早期に社会復帰するために十条武田リハビリテーション病院では、一日シオン病棟を設け、専門のスタッフが一つのチー

リハビリテーション

特化したセンターや専門外来を積極的に開設し、よき。また急性期の治療を脱した患者さんへの回復期医療。帰っていただくための医療の充実にも力を入れています。も早く在宅に復帰していただくために回復期リハビリテームとなって、リハビリテーション医療に取り組んでいます。

慢性期医療

北山武田病院・稲荷山武田病院では、急性期や亜急性期の医療を終えた患者さんの医療、木津屋橋武田病院では要介護状態にある患者さんへの介護や機能訓練、必要な医療を提供しております。

クリニック

武田クリニック(血液透析センター)【京都市伏見区】
京都駅前武田透析クリニック【京都市下京区】
柳馬場武田クリニック【京都市中京区】
京都壬生苑診療所【京都市中京区】 辰巳診療所【京都市伏見区】
康生会クリニック【京都市下京区】

地域医療連携室

病院と地域の開業医の先生方、患者さんを密接に結び役割を担っているのが地域医療連携室です。住み慣れた場所での安心の医療提供の拠点であるとともに、症例検討会や地域医師会行事への参画など、病診連携のさまざまな活動を進めています。康生会武田病院は地域医療支援病院として指定を受けています。



地域の医療機関・福祉施設

病診連携・病診連携

開放型病院

武田病院・医仁会武田総合病院・宇治武田病院・十条武田リハビリテーション病院の4病院は、地域の開業医の先生方が病院に生まれ、患者さんを診ることができる開放型病院です。患者さん個々の健康状態を熟知している開業医の先生と、専門性の高い病院の医師が、協力し治療を進めています。

Bridge The Gaps

「ブリッジ・ザ・ギャップス」(橋をかけよう)



プライマリー
ケア
救急
透析 20床

プライマリーケア

患者さんが初期に接する家庭医療、それらが容易に得られる身近な病院です。
(初期症状の急患・外来・健康相談・検診など)

精華町国民健康保険病院(50床)【精華町】



プライマリー
ケア

北山武田病院(60床)【京都市北区】



プライマリー
ケア
透析 20床

宮津武田病院(65床)【宮津市】



プライマリー
ケア
緩和ケア
(18床)



木津屋橋武田病院
(111床)

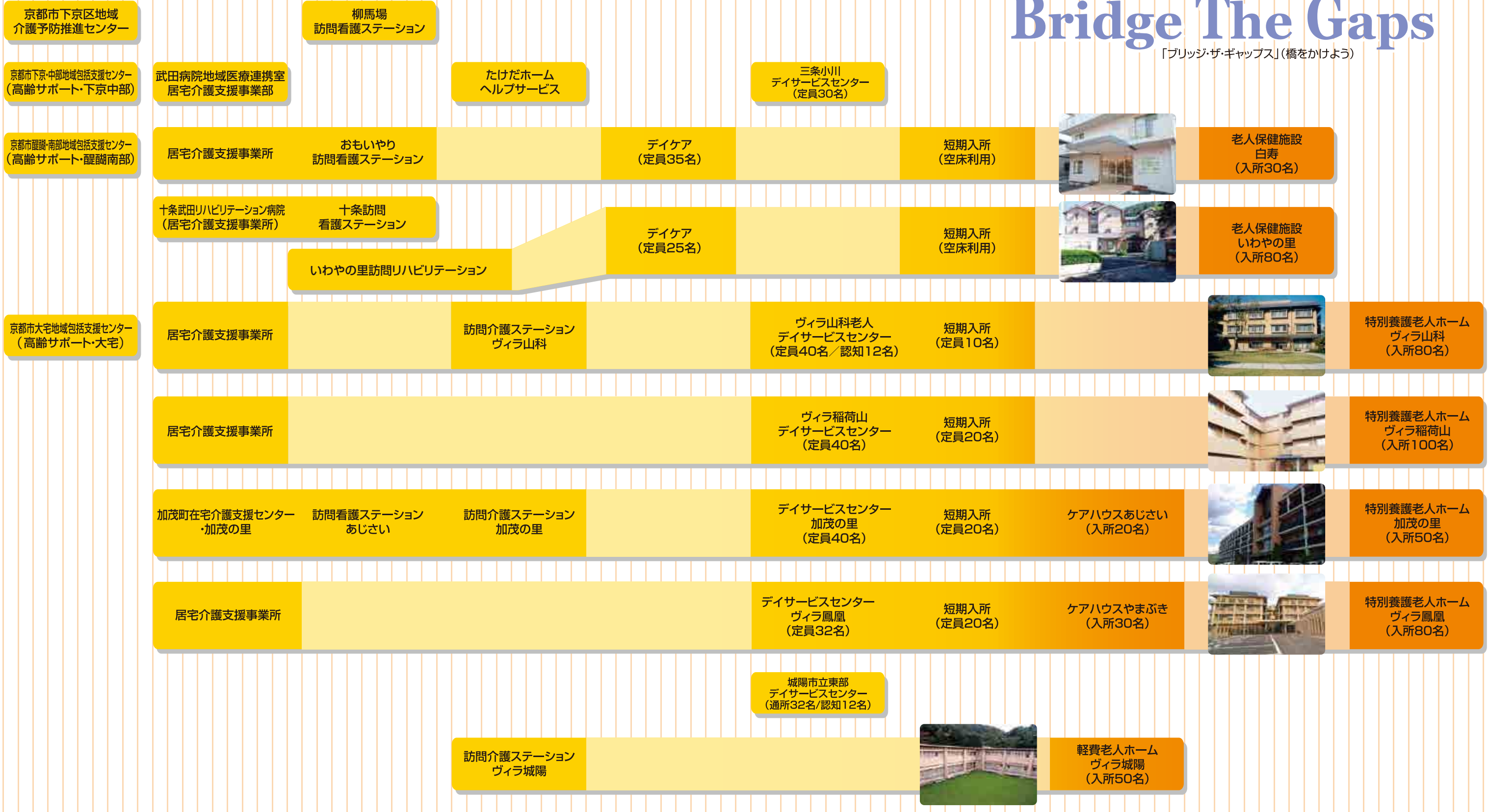
【京都市下京区】

プライマリー
ケア

稲荷山武田病院(55床)【京都市伏見区】

Bridge The Gaps

「ブリッジ・ザ・ギャップス」(橋をかけよう)



公的サービス

在宅サービス

入所サービス

- 地域包括支援センター**
市町村が主体となり、地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを防ぐ介護予防ケアマネジメントを行う自立支援の拠点です。
- 地域介護予防推進センター**
要支援・要介護状態となるおそれのある高齢者等に各種介護予防事業を提供するため、京都市が委託運営する公的な機関です。
- 居宅介護支援事業所**
介護支援専門員(ケアマネジャー)が、利用者さんのご自宅を訪問。心身の状態や生活状況を把握し(アセスメント)、ケアプランを作成します。適切なサービスが提供されるよう事業者を調整・仲介するパイプ役となり、継続的に状況を評価・管理していきます。
- 訪問看護**
当グループの訪問看護ステーションでは、専門技術に優れたベテランの看護師がご家庭を訪問し、主に在宅療養の指導、医師の指示に基づき(医療処置、リハビリテーション)や介護相談などに応じています。小児看護やターミナル(終末期)看護にも力を入れております。
- 訪問介護**
要介護または要支援の認定を受けた方が、居宅で介護を受けることのできるサービス。日常生活を送る上で基本となる食事や入浴、排泄はもとより、通院や買い物など外出の付き添いや洗濯など、ケアプランに基づいたサービスを提供します。
- 訪問リハビリテーション**
居宅で生活されている方が、その能力に応じて自立した生活が継続出来るように、医師の指示に基づき、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がご自宅を訪問し、専門的なリハビリテーションを提供するサービスです。
- 通所リハビリテーション(デイケア)**
認知症や脳血管疾患による運動障害のある在宅高齢者などが、心身の機能維持・回復のために必要なリハビリテーションを受けるサービスです。医師やセラピスト(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)の指導のもとでリハビリテーションが行われます。
- 通所介護(デイサービス)**
要介護および要支援の認定を受けた在宅高齢者を対象に、施設に昼間来ていただき、入浴やお食事、レクリエーションや機能訓練などのサービスを提供します。ご家族の方の負担を軽減するとともに、高齢者の楽しみの一つとしてご利用いただいています。
- 短期入所(ショートステイ)**
在宅で高齢者等を介護している家族が一時的に介護ができなくなったとき、短期間(原則7日間以内、延長も可能)入所するサービス。要支援・要介護高齢者を対象に日常生活のお世話を短期入所生活介護と、医療上の介護を提供する短期入所療養介護があります。
- ケアハウス(軽費老人ホームA型)**
60歳以上で(夫婦で入居する場合)はどちらかが60歳以上)で、自炊ができない程度の身体機能の低下があるか、高齢のため独立して生活するには不安があり、家族による援助を受けるのが困難な方が入所の対象。定額な料金で生活を支える老人ホームです。
- 介護老人保健施設**
看護やリハビリテーションなどを必要とする要介護1~5の高齢者が対象で、可能な限り自立した日常生活ができるよう生活機能の維持・向上を目指すなど、総合的に援助し在宅復帰を目指す施設。医療と在宅をつなぐ中間施設と呼ばれます。
- 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)**
65歳以上で身体または精神に障害があり、要介護1~5に認定された方に対し、施設介護サービス計画に基づいて入浴・排泄・食事等の介護、日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行う施設です。個室のユニットタイプと大部屋タイプがあります。

高齢化社会(介護する人・される人)

武田病院グループ 副理事長
康生会武田病院 名誉院長
社会福祉法人 青台福祉会 理事長

武田 道子



急速な高齢化、少子化、65才以上の方が3000万人を突破。一方で、人口の減少が続き、28万4000人の減少となり、介護予防の重要性が増加してまいりました。昨年は100才以上の方が、5万1000人を越えました。世界一長寿国を保って来た我国ですが、27年ぶりに女性が2位に転落しました。男性は8位です。この主な原因は、東日本大震災と若者の自殺だと云われて居ります。しかし、やはり我国は長寿国、世界一の長寿者は、男女共に日本人です。

さて病気になる前に、天寿をまっとうすることは可能でしょうか。それは、生活習慣を改めれば可能でしょう。栄養・運動・休養のバランスが大切です。上手に老いること、それは体も心も、元気でなければなりません。健康であること、それは、体を思うように動かせることです。健康は自分自身で守るもの。早くから予防に務め、健康診断を受け、病気の早期発見、早期治療を行えば健康で長

生き出来るのです。医学の進歩で、日帰り手術も多くなり、すぐに社会復帰が出来る時代になりました。

しかし、無病息災は不可能でしょう。二病息災、二病息災でよいのです。つまり、病気と共生して、日常生活に不自由なく過ごして行けばよいのです。政府は在宅支援をすすめて、病院、施設から家庭へ帰えすことを推奨して居ります。

しかし、少子高齢化の核家族化された、我国では、むつかしいのが現実なのです。老老介護では、共倒れになってしまわう方が沢山いらっしゃいます。そこで、これからは、子供も老人も社会の手でみることです。

介護する人と介護される人にとって、やさしく、あまり頑張らないで長続きする生活を考えて行かねばなりません。介護は、どうして大変なのでしょう。答えは、食事、排泄と自分ともう一人の命を背負うわけですから、大変でないわけではありません。自分の体の世話を

するのでも大変ですから、ひとりで頑張ることは、自分の命を削って居るのです。これでは、長続きはしません。体の悲鳴は心の悲鳴につながり、大切な笑顔が消えてしまいます。介護と同時進行で、自分の人生を生きたこと。それには、どのようにして、時間を作り出せばよいか考えなければなりません。

介護には、時間もエネルギーも使いはたしますが、自分の時間をつくり出すことが、介護を楽しくする第一歩なのです。決して、介護を犠牲と思わないことです。介護は生活の一部であり、完全な介護はありません。お互いに、ほどほどの自由が許される環境で介護生活を送らねばなりません。介護の為に、趣味も仕事も、止めてしまう方がありますが、介護しながら、わずかの時間でも自分の夢につながる時間をつくる工夫が必要です。一人で介護をして居りますと、何故自分だけが、こんな苦勞しなければならぬのかと、云われる方があります。そ

のような時は、同じ立場の人とお話をすることで気分が楽になります。わかってくれる人が居る、助けてくれる人が居ると思うと、元気が出て来ます。介護度があがると、核家族化された我国では、家族での介護力では、やって行けません。介護する人、される人もお互いに頑張り過ぎない、頑張らせない介護生活を目ざしたいものです。それには、社会全体で支援することが必要です。介護保険の導入によって介護の世界は、改善されて来ましたが、老化はさけて通ることは出来ません。止めることも出来ません。しかし、遅らせることは出来るのです。楽しい生活を送りながら、介護するには、デイサービスや老人施設を上手に使っていただくことです。

長寿の秘訣は、三食たべて、みんなと唄ったり、笑ったりする生活を送ることです。独食が一番いけないと云われて居りますが、施設では必して、独りにはさせません。ボランティアの方といろいろなことを楽しんでいただけます。昔のように親をあづけたりしてと、云われることもなくなりました。

長い月日ですので、介護を続けて行くには、二つのところを上手に使うことです。即ち、自宅とケア施設と病院の三ヶ所を、行ったり来たりすることです。介護者が息抜きをしないと疲勞してしまいます。ショートステイを御利用されると、手足が不自由でも、みんなと一緒に



頑張つて食べたり、歩いたりしている人を見て、自分も頑張ろうと云う気になって帰宅し、これが、要介護者の刺激になります。病院へ入院しますと、元気になるていただく為に、食事介助もしてくれます。長い病院生活を過ごしますと、自分で食べないようになつたりして、長く居るのはよくありません。自宅とケア施設と病院の三角関係をうまく活用することこそ、大切なことです。

介護現場では、介護者をささえてくれる一番の協力者は、要介護者、つまり介護されるお年寄りなのです。介護する人の大変さをわかつてくれ、同時に介護される側の気持ちも察しながら、お世話することを心がけることです。両者から、笑顔が消えないことを願っています。

介護保険制度が導入され、介護認定を受けるといろいろの介護が受けられます。訪問介護サービス、訪問看護サービス、デイサービス、ショートステイ等、沢山のサービスがあります。ケアマネさんがたてた、ケアプランに基づき、ヘルパーさんは、入浴、食事介助、しものお世話、洗濯、掃除などを提供してくれます。これらのサービスを上手に使うと、お互いに「あなたに会えてよかった」と思える関係を結びたいと思います。



「明日の医療」

武田病院グループ 専務理事
医療法人財団 康生会 理事長 **武田 隆司**

珍しくマジメなタイトルをつけてみた…

悪夢の民主党政権が崩壊してから早くも半年間が経過した。彼らは実に多くの不利益を日本に与えて去って行った。結局のところ、本気で政権を取れるとは自身が考えていなかったため、何をどうして良いのかわからぬまま終わってしまったのだろう。ずっと大反省でもしていれば良いと思う。

さて第二次安倍内閣はどうか？

夏に行われる参院選までは安全運転を続けて本音は見せないという雰囲気なので、腹の底は読めないというのが大半の人の感想だろう。

こうした中の去る3月、安倍総理は日本のTPP参加を表明した。どうせ参加するならばASEAN+6のカードもチラつかせながら両方を含めて検討すれば良かったのにも思うのだが、これまで外交下手の名を欲しいままにしてきた我が国は果たしてこの歴史的交渉を有利に進めることができるだろうか？

TPP参加に拘る話題で個人的に気がかりな点として、安倍総理が日本経済再生本部・産業競争力会議のメンバーに竹中平蔵氏を選出したということがある。

今さら説明するまでもなく竹中氏は、小泉政権時代より「混合診療の解禁」「医療の自由化」を提唱し続けて来た人物である。徹底的にマスコミを操作し、医療者・医療機関への不信感を煽り立て、経済界や財務省が予てから悲願としていた医療費の削減を成し遂げた。その結果が歴史的医療崩壊を導くこととなり、「モンスターペイシエント」「(所謂) 救急のたらいまわし」「医療者の立ち去り型サボタージュ」などの造語が生み出されたことは記憶に新しい。

簡単に言えば「経済界の雄」であり「医療界の敵」という判りやすい立場の人だ。

ところで混合診療の解禁が現実になると何が問題なのか？ 一般の人はあまり考えたこともないかもしれない。しかし私は、この判断が自分と同世代若しくはそれより若い世代にとって、将来的におそらく重要な意味を持つことになると考えている。なので立場的にはとても重く、ともすれば避けたいこの問題を肯定でも否定でもなく客観的に触れてみることにする。

まず利点として考えられる点を挙げてみると以下のことが考えられる。

- ・国内で保険未承認の画期的薬剤や医療器具を海外から仕入れて保険診療と併用できる
- ・傷病名から保険では認められない検査などを保険診療に併用できる
- ・患者はインセンティブ（追加料金）などで医師を指名できる
- ・医師は保険制度に縛られずに世界の最新治療を行うことができる
- ・専門性の高い医師は好条件の収入を得ることができモチベーションが高くなる
- ・保険者（事業主）の負担が軽減する
- ・国民医療費が（見かけ上）減少する
- ・保険会社・医薬品・医療機器メーカーの収益が上がり税金が増える

対して欠点と考えられるのは以下のことだろうか。

- ・すぐには大きな問題とならないと考えられる、風邪や頭痛・胸焼けなどといった「軽医療」は保険診療から削除される
- ・希望する医療は時に高額になり、従って誰もが平等な医療は受けられない
- ・医師間の条件格差ができる
- ・若手医師の症例経験機会が減少し、医療全体では質が低下する

こうして比較すると利点の方が圧倒的に多く、欠点は少なく思えるかもしれない。

軽医療が保険から削除されるというのは考え過ぎと思う人がいるかもしれないが、これはほぼ確実に実行されるはずだ。財務省が永年抱える悲願の一つと言って良い医療費削減の強烈な突破口になるからだ。

大袈裟のように思われる方が殆どかと思うが、海外の多くの国では風邪や胸焼けで医療機関を受診する人はいない。従ってドラッグストアで多くの薬は購入できる。そして日本でもスイッチOTCという呼称で、以前は医療機関で保険を使用して処方箋を使用してしか手に入れることが出来なかった薬剤がドラッグストアなどで気軽に購入できるようになっていることに気づく人もいるだろう。（成長戦略指針の中でOTCのネット販売という話題が何度も出ては消えているのが、選挙を控えた安倍政権のジレンマとも受け取れて面白い）

薬剤メーカーとしても保険と比較すると高い利益を得られるので力を入れている。株価は上がって税金が増えて企業も財務省も大喜びだ。また患者さんの中にも、出費はかさむけれど医療機関を受ける時間の費用対効果を考えれば「まあいいか」という人もいるだろう。しかし軽症の中にも大病が隠れていることは実はさほど珍しいことではない。軽症でも受診機会があることによって未然に防げる大病は確実に存在する。問題は受診機会を取り上げてしまうことなのだ。

そして高額（高度）な医療を受けられる人と受けられない人が出来てしまうことは正に格差であり、健康や寿命が保有する金額で決まるという恐ろしい未来が生まれる前兆のようにも感じる。

ちなみに成長戦略でも度々名が挙がる「医療ツーリズム」というものがある。これは「良質安価」と評価されている日本の医療を外国人も受けられるシステムによる外貨獲得が狙いだが、国民皆保険を使用しない自由診療にカテゴリーされるものなのでここでは触れないことにする。ただし国内には医師不足という問題が存在しており、多額の国税を用いて育てた医師という限られた資源を海外の富裕層に浪費して良いのかという問題は考えられていないように思う。またそうした富裕層中心の「条件が良い医療機関」には優秀な医師が集中するようになり、現状の国民が平等な医療を受けら

れるという機会は確実に減少し、皆保険制度の理念が崩壊する危険を内包していることを忘れてはいけないだろう。何より日本の医療が「良質安価」なのは、善くも悪くも社会主義的側面としての価格設定が存在すること、自己犠牲を厭わない献身的な日本の医療者が存在するから成し得る奇跡であって、経済界や官僚が考えている理屈は論理性に欠けている。

皆保険制度・混合診療・自由診療…

立場が変われば意見が変わるのは致し方ないことだと思う。なので私見であっても結論を出すつもりはない。ただし列挙した利点・欠点を良く読めば、誰が何のために進めたいのかは透けて見えてくるように思う。

先日行われた内閣府経済社会総合研究所主催の国際コンファレンスにて「日本経済の再生に向けて」と題した討論に参加した竹中氏は、成長戦略の一環である規制緩和は日本に必要であり政府は民間の自由度を上げることを最優先にすべきという持論を熱弁した。この発言は一環して以前からブレてはいない。しかし注目すべきは、この討論に参加していた米国コロンビア大学教授のジェフリー・サックス氏とジョセフ・スティグリッツ氏の両名が共に「米国の規制緩和は失敗した」と断言したことだ。

サックス氏は「米国では規制緩和で民間にリーダーシップを与えた結果が強力な利益団体とロビイストを生み出した。現在の米国医療はムダが多く、入院医療・医薬品価格共に高額であり破滅している」と述べた。

またスティグリッツ氏は「米国は規制緩和に失敗し、貧しい人々からの搾取が続いている。民間の首を絞めてはいけないが、市場には失敗があり、政府には成すべき役割がある」と述べた。

随分以前の当コラムにも書いたのだが、米国の医療は患者のためというよりも民間の医療保険会社や医薬品・医療機器メーカーが巨大産業であり続けるために存在しているという側面が強い。

そして米国というのは巨額な利益を上げる業種が強力なロビイストとして政治を動かせる国であるのが現実なのだ。

それこそが行き過ぎた資本主義であり、現実に性善説だけでは医療の自由化は成功しなかった。竹中氏が考える明るい未来では、日本が桃源郷になるのは無理のようだ。

医療現場にとってのエネルギー危機

武田病院グループ会長

武田 隆男



自民党、公明党が政権に復帰し、安倍晋三首相が2度目の総理総裁となつて5カ月あまりになりました。デフレからの脱却など、アベノミクス（安倍経済戦略）が功を奏しています。円安、株高は目を見張るばかりです。

日本固有の領土尖閣諸島など、東アジア海域での中国の覇権主義は、時代錯誤もいどころです。もう一つの隣国も又、領土問題や色々な事を引き起しています。両国とも日本の科学技術等や絶頂的に援助も与えているのです。

北方領土についても、又、北朝鮮の核保有問題等々、我国にとつては、将来の事を含めて、重大な問題があります。このためもあつて、同盟国アメ

リカを中心とした国際間の強い絆と、友好関係の構築を安部首相は、緊急の課題として頑張っています。しかし、いずれの課題とも一歩でも執るべき手段と道を誤れば、国の存立をさえ脅かす重要なものばかりです。

その二つ、安倍首相が参加を表明しているTPP（環太平洋連携協定）については、日本の農業危機ばかりがクローズアップされていますが、私たちの医療界にも大きな関わりがあることを無視するわけにはまいりません。

確かに現時点では、TPPが高いハードルとして設定している「例外なき関税撤廃」の最大の狙いは農産物の市場開放にあるのでしょうか。ただ、

療従事者が医療を支えて、しかるべき賃金を支援した後の余剰金で設備投資や学術研究費用等を捻出しているのも現実です。TPP参加表明を機に政治に任せきりではなく、医療従事者も真剣な論議を重ねる必要があるものと考え次第です。

二つ目は、11.3.11の東日本大震災による福島第一原発爆発事故に端を発したエネルギー問題です。人工呼吸器、人工透析、緊急手術など、医療機関が直面している電力不足や停電といった、事件への不安、それに代わる代替電力への投資と負担は大変なものがあります。重症の筋萎縮性側索硬化症患者さんにとっては、直接、生命に関わるだけに、医療機関の責任は深刻です。

「脱原発」「原発再稼働反対」「原発ゼロ」を掲げることが先進的・革新的理論で、「国民総意でもある」とも喧伝されていますが、使い放題であったエネルギーが本当に原発ゼロ？になった時に、国民総意での耐乏生活は可能なのでしょうか。「原発の代替は再生可能エネルギー」との主張についても、CO₂（二酸化炭素）や、近未

来での枯渇が指摘される化石燃料などの問題も踏まえて論議を尽くしていただきたいものです。人類が得た原子力の技術を発展させる事が大切であると思います。事故の起こらない原発に発展させる事が人類の使命でしょう。次世代のため、ずっと後世のこと、地球も、人類の存亡にかかることです。人類が発見し、作ってきた知恵を更に深めていかなければなりません。

私どもグループ病院でも、節電対策として、各施設に常用発電機（天然ガスコージェネレーション・CGS）など自家発電に取り組んでいます。それとて一時的なもので長期にわたるエネルギー対応は不可能と言わざるを得ません。多くの人命をお預かりし、今後もお預かりし続けねばならない医療従事者として、自身で補えるエネルギーづくりに懸命に取り組み覚悟だけはしてまいる所存です。

医療を取り巻く環境は、上記の諸問題だけでなく、挙げればキリがありませんが、武田病院グループでは、今年4月1日に開設しました「武田

いずれは医療分野にも触手を伸ばしてくる可能性は高いと思われます。病院運営について、ある程度は認めてゆかざるを得ないかもしれない「混合（自由）診療の解禁」がまず考えられます。そのほか、医療への企業参入の促進や、医療機器・医薬品、人材登用の自由化などが取り沙汰されていますが、何より、私的な医療保険の拡大は、（米国の私的保険は医療を支配している）日本が誇る国民皆保険制度を根底から揺るがす危険性をはらむことになりかねません。しっかり対応していかなばなりません。

私ども医療機関は、診療報酬体系のもとで、公的費用として医療収入を得ています。その中で、数多くの病院脳卒中センター」のセンター長として三重大学脳神経外科教授だった滝和郎先生をはじめ、グループ全体で新しい医師51名と研修生12名、看護師、セラピストなど170人を超える新人採用者を迎えることができました。ひとえに医療者をはじめ、グループ職員の一致団結した運営努力のおかげであると感謝しております。

辞令交付式でも述べましたが、21世紀は医療の高度化やIPS（万能細胞）といった新しい発見や優れた技術が進歩して、我々の予想を超えた先進的な医療が行われるようになってきており、病院医療の仕組みや医療そのものについての考え方の再構築が迫られています。しかし、病院にとつては、マンパワー無くして一歩たりとも前進できないのも事実です。一人一人の患者さんに対して愛、仁、慈愛といった、思いやりのある温かく優しい心と、気配りの心をもつ人材に育っていたことを期待し、武田病院グループのさらなる発展にご尽力をお願いいたします。

医療法人 **医仁会武田総合病院**

7名の研修医を採用 医師育成に注力しています

医仁会武田総合病院は平成5年に厚生省（現・厚生労働省）より臨床研修病院の指定を受け、翌年から研修医の教育に着手しました。

平成16年度に厚生労働省による「新医師臨床研修制度」がスタートして以来66名の方が当院での研修を修了され、全国各地でご活躍されています。

そして10年の節目にあたる今年度は、7名の研修医を採用し、医師の育成に力を注いでおります。



左から、福本竜也先生、桂裕紀先生、橋本昌之先生、苗村佑樹先生、三浦賢仁先生、須藤萌先生、宮田真里先生

最新鋭の結石破碎装置に更新しました

現在当院において腎・尿管結石に対する対外衝撃波結石破碎治療は2台の破碎装置で行っております。今回、そのうちの1台を最新鋭のDornier Geminiに更新することになりましたのでご紹介します。

本機はX線受像部にフラットパネルを採用し、一段と鮮明な画像が得られるようになりました。また、治療ヘッドの口径が140mmから220mmに拡大され、その結果衝撃波の出力パワーも9段階から15段階へと強化され、また衝撃波の到達深度が150cmから170cmとなり、余裕を持って治療が行えるようになりました。一方で、患者さんの感じる苦痛は一段と軽くなっています。

今回の最新鋭の装置導入により当院に於ける結石治療の適応範囲が広がるのが期待できます。
(P26のメディカルアドバースもご覧ください)



多機能型体外衝撃波結石破碎装置「Dornier Gemini」

医療法人 財団 康生会 **武田病院**

平成25年度初期臨床研修医4名の先生をお迎えしました

平成25年4月1日付けにて、新たに4名の初期臨床研修医の先生が採用となり、2年次の2名の先生方と合わせて6名の初期研修医の先生方が研修されることになりました。

各先生方は1週間のオリエンテーションを終了した後、各診療科のローテーションに付かれ、緊張のなか真剣な眼差しで取り組まれています。皆様、新任研修医4名の先生方をどうぞよろしくお願い致します。



左から、山上先生、由良先生、戸田先生、高梨先生

新たに、10名の999リーダーナースを認定しました

武田病院看護部では独自に武田病院の特徴である救急医療に強みを発揮するために、BLS（一次救命処置）を推進する役割を任された999リーダーナースを長年にわたり養成しています。平成24年4月から1年間、月2回の研修を受け試験に合格した10名が新たに999リーダーナースに認定され、4月25日に葛谷院長より認定証と記念品が授与されました。今後も継続して地域の皆様に信頼される医療の提供を目指し取り組んでまいります。



CT装置を更新しました

今回導入されたAquilion PRIME。80列×0.5mmの検出器が搭載され東芝メディカル社製320列CTの技術を継承した次世代プレミアムCT。装置の開口径は広がり、検査における圧迫感の減少・患者さんへのアクセス性に優れ、救急撮影時など、様々な状況下での撮影が可能となっています。

New Workflowとして160mm/秒の超高速ヘリカルスキャン、60画像/秒の画像再構成時間も従来装置に比べ3倍もの高速化に成功し、スピーディーな画像表示が可能となり、高速ルーチン検査や静止困難な救急患者の全身検査に威力を発揮し、画像表示はほぼリアルタイムな表示が実現されます。

X線被ばくの低減においてもActiveコリメータ、AIDR 3Dと呼ばれる新たな画像再構成法など、技術が集結され75%の低減効果も可能となった装置です。



各施設での取り組みをご紹介します

医療法人 財団 医道会 **十条武田リハビリテーション病院**
リウマチ通信を発刊しました

この度、リウマチ患者さん向けの新聞を発行いたしました。この10年あまりでリウマチ治療は大きく変わりました。外来診療の時間だけでは十分伝えきれないことを少しでも多く、また正確に伝えるためにと思い創刊いたしました。リウマチ治療における重要なことを伝える場であり、また患者さんからの質問やご要望にお答えする場にもなると思います。皆様と一緒に作る新聞をめざしています。どうぞご遠慮なくリクエストをお願いします。



医療法人 財団 康生会 **北山武田病院**
脱毛は、安心・安全な医療機関で受けましょう

当院では、医療施設でしか行えない絶縁針を使った**針脱毛**と、医療用レーザーを使用した**レーザー脱毛**を行っています。

針脱毛が適している方

- ・わきの汗、臭いが気になる方
- ・色素沈着がある部位
- ・軟毛(うぶげ)
- ・眉毛



レーザー脱毛が適している方

- ・毛を伸ばせない方
- ・広範囲を短時間で処理したい方
- ・色白で硬毛の方
- ・男性のひげ



- ▶レーザー脱毛と針脱毛を合わせた、コンビネーション脱毛も可能です。
- ▶レーザー脱毛で減毛し、針脱毛に変更する事で更に脱毛効果が上がります。
- ▶あなたのライフスタイルに合わせた、最も適切な脱毛方法をアドバイス致します。
- ★脱毛は予約制です。初めての方は、形成外科・美容皮膚科の診察後ご予約下さい。
- ✳️毛量や範囲によって料金は異なります。



宇治武田病院
医師紹介(消化器内科部長)

昨年11月より宇治武田病院消化器内科部長として赴任させていただいております。現在は外来と内視鏡を使った検査および治療を中心に行っています。

当院に赴任して思ったことですが、大腸内視鏡にて進行した大腸癌を目にすることが増えた印象があります。また、その患者さん達の多くが“痔かと思っていました”とおっしゃられます。当院の検診センターおよび近隣の市町村から便潜血陽性にて来院される患者さんもたくさんおられるのですが、その中の多くの方が同じように“私、痔なんです”とおっしゃられます。そうなんです、自分で大腸癌の症状を痔と決めつけておられるんですね。この他にも便秘かと思っていたら・・・、等、自分で決めつけないで何かおかしいなと思ったらお気軽に来ていただければと考えています。

また、お腹の検査はつらいものと思われがちですが、現在は鎮静剤にてなるべく苦痛を減らした検査の方法もありますので、“つらくて当たり前”と思わせない検査をモットーにがんばっていききたいと思います。

今後とも宜しくお願いします。



消化器内科

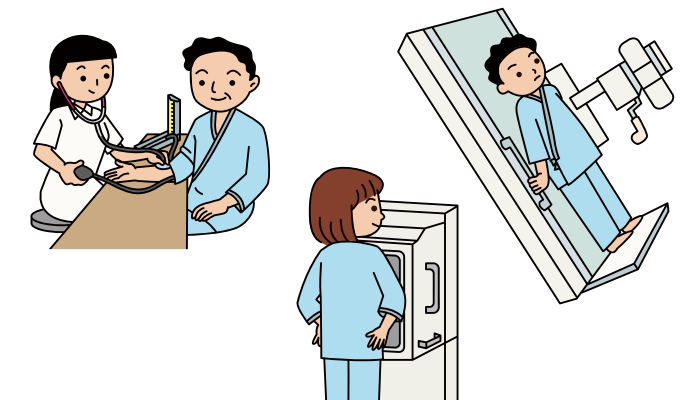
	月	火	水	木	金
診察(午前)	宮嶋	霜澤	霜澤	宮嶋	宮嶋/霜澤
胃カメラ(午前)	霜澤	宮嶋	宮嶋	第1 霜澤 第2,3,4,5 服部	宮嶋/霜澤
検査 大腸ファイバ(午後)	本澤			青山	宮嶋/霜澤
内視鏡治療(午後)		宮嶋/霜澤	宮嶋/霜澤		

【医師紹介】

消化器内科部長 霜澤 真
平成24年11月1日就任
平成7年 宮崎医科大学(現:宮崎大学医学部)卒
日本内科学会、日本消化器病学会、日本内視鏡学会 所属

人間ドック・健診施設機能評価の更新審査を受審しました

平成24年11月27日、当院健診センターは「人間ドック・健診施設機能評価」更新審査を受審しました。当日は2名の審査委員が来院され書類審査及び健診センター内での業務内容を審査いただきました。大きな指摘事項もなく、審査員からは貴重なご意見も頂戴しました。今後も利用者さんが安心して受診できるよう、またよりよいサービスを提供できるよう第三者評価を積極的に導入し、健診機能の客観的な評価に基づき質の向上と効果的なサービス改善に努めて参ります。



各施設での取り組みをご紹介します

社会福祉法人 青谷福祉会
特別養護老人ホーム

ヴィラ山科

防災への取り組み

2月8日、勤修寺消防出張所の立会いの下、昼間に地震・火災が発生したことを想定した避難誘導・初期消火・通報連絡・避難者救出を含めた総合避難訓練を実施しました。

地震及び火災時の施設全体の動きを確認する為に、施設内の全事業所が参加した大規模な訓練となりました。

訓練終了後、勤修寺消防出張所の方から、避難時の職員連携の重要性や、誘導方法についてのアドバイスを頂き、消火器の使用方法についての訓練も実施しました。

ヴィラ山科では、スプリンクラーや防火扉は完備していますが、利用者の方々にこれまで以上に安心して生活していただけるよう、今後も継続して訓練を行っていきます。



社会福祉法人 青谷福祉会

加茂町高齢者福祉センター

～デイサービス～ 加茂船屋雑まつり見学

デイサービスセンター加茂の里では、木津川市旧加茂町船屋・新町地区で3月1日（金）～3月5日（火）まで開催された、「加茂船屋雑まつり」の見学に今年も出掛けました。昨年に引き続き2回目の見学になりましたが、昨年と比べるとお雛飾りも多く展示されており、また、地域のボランティアの皆さんによる出店もあって、とても賑わっていました。

当日は車で地域を巡った後、南町集会所で一旦車から降りて頂き、町並みをゆっくりと見学しました。お雛飾りと一緒に記念撮影をしたり、地域の方々と触れ合う機会を作ることができました。

ご利用さんからは、「お雛飾りの見学も楽しかったけど、地域の方々と交流ができたことが何より良かった」との声が聞かれました。



社会福祉法人 青谷福祉会

城陽市立東部デイサービスセンター

機能訓練の充実

城陽市立東部デイサービスセンターでは利用者様より要望が多かった機能訓練を強化するにあたり、昨年8月より理学療法士を採用しました。

体操はもちろんのこと個別機能訓練にも力を入れており、利用者さんからもより専門性が高まり大変喜ばれております。

今後も機能訓練の充実を図り利用者さんが健康で末永く在宅で過ごせるようにサポートさせていただきます。



医療法人 医仁会

老人保健施設 白寿

『基本理念』 真心を込め、そして信頼を

老人保健施設白寿は平成25年4月1日、下京区から伏見区に移転し1年を迎えました。行事では、地域のボランティアの方々による大正琴やフラダンス、尺八、舞踊などが披露され、また地域包括センターによる学区社協との研修会などを開催いたしました。今年度は施設の特徴・役割を更に活かし、地域に向けて情報発信し地域から選ばれる施設を目指します。

また武田病院グループの機能を多分に発揮し、他事業所との連携も強化し、職員一同が一体となったケアの提供に取り組めます。



指定管理者 医療法人 医仁会

精華町国民健康保険病院

整形外科部長 千保一幸 先生が着任いたしました

4月に城陽市の京都府立心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院から赴任いたしました千保一幸です。この精華町国民健康保険病院は過去5年、整形外科常勤医が欠員となっておりますが、新たに整形外科を開設し、整形診療・手術室ともゼロからの再起動を模索中です。加えてリハビリテーション部門の強化や、京都府南部の地域中核病院としての体制を築いて欲しいとの行政の意向もあり、極めて前途洋々（多難？）な船出をむかえております。なにとぞ武田病院グループおよび関係方面各位からの暖かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。



医療法人 財団 宮津康生会

宮津武田病院

院内活動報告会（QM活動報告会）を開催しました！

病院運営の質の向上を目的として、日々取り組んでいる業務について各部署・職種による平成24年度の院内活動報告会を3月27日に実施いたしました。

同じ院内でも部署・職種が異なると各々の仕事内容が見えてこない部分もありますが、今回、相互の理解も大いに深まり、盛況な報告会となりました。

こういった日々の取り組みによって、患者さんへの質の向上はもちろん、職員にとっても働きやすい職場を築いていけるように、今後も継続して行きたいと思っております。



木津屋橋武田病院

地域医療連携室について

木津屋橋武田病院は、地域の皆様が安心して生活を送っていただくために、昨年末より地域医療連携室を立ち上げました。これに合わせて、従前からあるグループ関連事業所の在宅部門（高齢サポート、居宅介護支援事業所、介護予防推進センター）も移設しました。

それぞれの特徴をいかした連携を積極的に行い、医療・福祉サービスの円滑な提供が図れるよう努めて参ります。当院への入院相談や、訪問診療・往診にかかる相談、退院後の医療・福祉サービスの相談などがございましたら、家族様、担当ケアマネージャー様、相談員様、どなたでもお気軽に地域医療連携室までご連絡して頂ければ幸いです。

受付 午前9時～午後5時（日・祝除く） 075-343-1766（代表） 地域医療連携室担当まで



医療法人 財団 医道会

稻荷山武田病院

緩和ケア病棟を開設し、半年が経ちました

開設して半年が経ち、他施設ご協力のもと、ようやく連携もスムーズになってまいりました。開設以来スタッフが丸となって、がんにもなう痛みや息苦しさなど不快な身体症状や生活上の不安を取り、安心して療養していただくために多職種がチームを組んで日々努力してまいりました。現在、病棟のスタッフは医師2名・看護師15名・看護助手3名・管理栄養士・薬剤師・理学療法士・地域連携担当者で構成され、日々質向上のため努力しています。今後も当院緩和ケア病棟をよろしくお願ひします。



尿路結石について

Q. 尿路結石と診断されました。どんな病気ですか？

A. 尿路は、腎臓と尿の通り路、すなわち尿管や膀胱、尿道を指します。尿路結石とは文字通り、尿路に発生した石です。本来、尿中に溶け込んで排泄されるカルシウムやシュウ酸、尿酸といった物質が、溶け込みきれず、結晶成分となってお互にくっついて固まったもので、文字通り石のように硬くなったものです。



医仁会武田総合病院
結石治療センター
センター長
東 義人

Q. 痛みは無いのですが、放置するとどうなりますか？

A. 腎臓内の結石は、通常、無症状ですが、尿とともに尿管から膀胱に下降する際、激痛を覚える場合が多々あります。また、運良く痛みを感じない場合でも、結石が尿管に閉塞すると、腎臓から尿が流れなくなって、腎機能を障害する恐れがあります。

Q. 職場の同僚にも結石患者がいますが、ポピュラーな病気ですか？

A. 最近の調査によると、男性は7人に1人が、女性は15人に1人が、一生に一度は尿路結石にかかるということです。そういう意味ではポピュラーな病気です。

Q. 遺伝や体質と関係ありますか？

A. 遺伝の関与に関しては解明が遅れていますが、女性患者さんのほうが男性患者さんより、家族歴のある頻度が高いようです。また、男性患者さんは父・兄弟に、女性患者さんは母・姉妹に結石の既往が多いそうです。

Q. 結石と診断されたら、どうすれば良いのでしょうか？

A. 泌尿器科専門医を受診し、結石の部位・大きさ、尿や腎機能への影響を検査した上で、手術的治療法、薬物的治療法、あるいは経過観察など、治療方針を立ててもらいましょう。

Q. 手術的治療法にはどのようなものがあるのですか？

A. 最近ではほとんど開腹手術はいたしません。身体の外から衝撃波というエネルギーを投与して結石を粉々に破壊する破砕療法、尿道から細いファイバースコープを挿入して、レーザー光線で破壊する方法、背中から腎臓に直接針を突き刺して、その針穴を少し拡張して、内視鏡を用いて腎臓を覗き込み、結石を破壊・吸引する方法などがあります。

Q. 再発しますか？どのような生活習慣を身につければ良いのでしょうか？

A. 従来からの生活習慣のままでは再発します。水分を多く摂取すること(冬は1日に2リットル、夏は3リットル)、甘味飲料水は控えること、コーヒー・紅茶にミルクを入れること、牛乳を飲むこと、食事は腹八分目に控えること、就寝直前の食事は避けること、動物性タンパクや脂肪の摂取を控え、野菜類を多くとる事。塩分・砂糖分を控えること、ほどよく運動をすることなど、メタボ対策でも聞かれる内容とかなり重複しています。
また、治療して結石が消失した後も、定期的を受診し、再発検診を受けましょう。定期検診を受けただけでも再発防止に役立つと言われています。これを、「ストーン・クリニック効果」と呼びます。

内痔核硬化療法(ALTA療法)について

Q. 切らずに痔を治せますか？

A. はい。痔は大きく分けると、いぼ痔、切れ痔、痔瘻に分類できます。このうち、「いぼ痔」が切らずに治せるようになってきました。「いぼ痔」には内痔核と外痔核があって、内痔核はALTA(ジオン)という注射が有効です。内痔核の症状は出血があっても痛みは無いことがほとんどです。トイレで便器を見ると血が出ている。普段は出ていないのに、トイレでは肛門から何か出ているような気がする。こんな時は内痔核の可能性が高いです。昔から、痔の手術は痛いと言われていました。肛門は敏感な場所ですから、やはり切れれば痛いのは事実です。しかし、内痔核なら切らずに注射で治せます。ALTAという硬化剤を内痔核に注射して痔を固めて、自然に吸収、縮小させる事が出来ます。2,3日の入院をお勧めしますが、注射後の痛みはほとんどありません。場合によっては、入院しなくても可能です。



十条武田リハビリテーション病院
院長代理
薄井 裕治

Q. どんな「いぼ痔」でも注射で治りますか？

A. 残念ながら外痔核では難しいです。内痔核と外痔核は肛門内部の歯状線を境に分けていますが、明確に内、外を分けることは困難です。本来、内外は連続しているものですから、内痔核と外痔核とが併発している場合もあります。単独の外痔核もあります。多くの場合は内痔核のみ、あるいは内痔核主体のケースですので注射が有効です。肛門鏡などの検査をして、注射だけで治せるかどうかの診断が必要になります。内痔核を放置していると、外痔核を併発して注射だけで治せなくなってしまう場合もありますので、上記のような症状があれば早めの受診をお勧めします。

Q. どの病院でも注射が受けられますか？

A. ALTAの注射は合併症を伴うことがありますので、どこでも受けられるわけではありません。「四段階注射法」という特別な注射方法が必要で、「肛門領域に精通した医師」で、なおかつ注射手技講習会を受けたもののみが施行できると決められています。内痔核治療法研究会に登録されている会員施設にご相談ください。

Q. 痛みの無い肛門出血は内痔核とっていいですか？

A. いいえ。肛門出血の中には直腸癌が潜んでいることがあります。一般的に鮮やかな赤い出血は痔、暗赤色の出血は癌が疑われますが、必ずしも正しくはありません。「出血があるけど、痔だろう。痔の治療は痛いからもう少し様子を見よう。」これが一番危ないのです。今は内痔核なら直すのに痛みの心配はほとんどありません。何ヶ月も前から出血があるのに、受診された時には既に進行した癌であった。こんな方を見る度に、「痔の治療は痛い」という先入観を忘れて欲しいと思います。

気になる病気

Q & A

この「コーナー」では、関心が高い疾患を皆さまにわかりやすく紹介いたします。それと同時に、読者の皆さまからの「質問」に答えていきたいと思っております。「気になる」疾患等がありましたら、ただだ通信編集部まで、意見を寄せてください。

物が食べ始められるようになり、特に鶏卵、牛乳、小麦では80%が学童期までに耐性獲得つまり治りますが、残りの20%ないし落花生、ソバ、魚介類等は除去食療法では一生治らない可能性があり、有効な治療薬もないのが現状です。

そこで10年程前から欧米で始まり我が国でも試みられている治療法に経口免疫療法(経口減感作療法)があります(表)。アナフィラキシー歴のある患者に非常に少量から始め増やしていく、通常量の原因食物が摂取できるようになります(数週間で行う急速法と半年〜1年かける緩除法があります)。スギ花粉症で行われている皮下注射での減感作療法と似ており、現象としては特異IgE抗体価の低下とアレルギー反応を抑える特異IgG4抗体価の上昇があり、調節性T細胞の活性化が関与してい

ます。但しこの治療法の有効な患者が35〜70%と高くなく、通常量に到達してもしばらく食べずにいると再び症状が出る、いわゆる脱感作状態までは行くが耐性獲得まで至らない例が多いことが判明してきており、まだまだ研究段階の治療法です。

表 耐性獲得の為の治療法

治療法	研究段階	アレルゲン	投与経路
修飾蛋白免疫療法	マウスでの実験	ピーナッツ	直腸
卵アレルギー児への高用量負荷	臨床試験	ピーナッツ	経口
舌下免疫療法	臨床試験	ヘーゼルナッツ	舌下
経口免疫療法	臨床試験	多種	経口

さらに最近の考え方で生後6ヶ月までに低用量の食物アレルゲンの炎症の起こった皮膚への暴露で2型ヘルパーT細胞が誘導される食物アレルギーが発症するが、経口暴露で1型ヘルパー及び調節性T細胞が誘導され耐性獲得が起こる二重抗原暴露仮説が提唱されています(図) J Allergy Clin Immunol 2008;121:1335より)。つまり乳児期は湿疹はなるべくない状態にし、さらに離乳開始を遅らせずに卵、牛乳等を摂取する方が食物アレルギーの発症を抑えるのではないかと言われています。今までの常識をくつがえすことになるのですが、実際の診療でも強く感じています。

最後に当科では食物負荷試験を入院で積極的に行っています。が、実際除去食のみ漫然と続けられ、経過と検査値(特異IgE抗体価)から判断すれば食へら

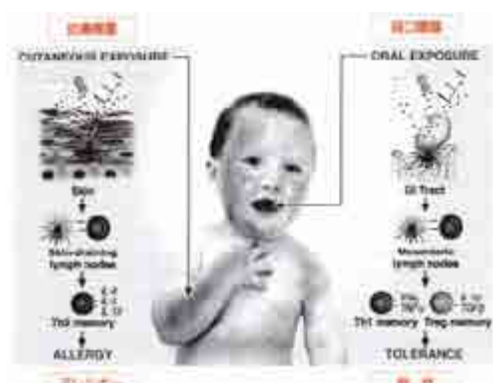


図 食物アレルギーの病因における二重抗原暴露仮説

れるのではと思う子供さんがたくさんおられます。試験希望の方は少し勇気を出して、「いつ食べるの?」「今でしょ!」の気持ちでご相談ください。

食物アレルギーの最新事情 〜食べながら治す〜

宇治武田病院に着任しアレルギー科を開設し3年目に入りました。成人では蕁麻疹、小児では食物アレルギーの患者さんが一番多く来院されています。今回は有効な治療法が少ない食物アレルギーの最新事情について、まず食物アレルギーの現状をお話します。

食物アレルギーの定義は「食物によって引き起こされる抗原特異的な免疫学的機序を介して生体にとって不利益な症状が惹起される現象」とされており、免疫学的機序とはある食物(アレルゲン)、その食物に対する特異IgE抗体と肥満細胞によるI

型アレルギーが多く即時型症状を皮膚、呼吸器、粘膜、消化器、さらに全身(アナフィラキシー)に起こします。小児科でよく診る乳児アトピー性皮膚炎でも約半数に食物アレルギーを伴っており、非即時型症状(遅発型、遅延型)として湿疹や皮疹の悪化が

みられることがあります。有症率は日本では乳幼児の5〜10%、学童以上では1〜3%とされており、原因食物の頻度は鶏卵、乳製品、小麦、甲殻類、果実類、そば、魚類の順になります。

診断法としては、まず問診にアレルゲン特異IgE抗体価、皮膚試験(プリックテスト)、ヒスタミン遊離試験(HRT)、食物除去試験(原因食物を2週間完全除去し、症状改善の有無をみる)、さらに食物負荷試験(原因アレルゲンの同定と耐性獲得の

予後については腸管免疫が発達する(分泌型IgA抗体の産生が増加)1〜2才から原因食



宇治武田病院
アレルギー科 部長
藤本 雅之

診断目的の2種類がある)等が挙げられます。治療法については、即時型症状に対して、抗ヒスタミン剤、ステロイド、エピネフリン注射(自己注射のエピペン®)があり、昨年9月から保険収載された)等で、アナフィラキシーにも対応できます。日常的な治療としては原因食物を食べない除去食療法が中心で、補助的に抗アレルギー剤の内服も行います。



長きに渡り都として栄えてきた京都は、海から遠く、人々の食生活は野菜により支えられてきました。京野菜は、恵まれた気候風土と良質な豊富な水源、生産者の工夫と精進料理や懐石料理などの京料理にたずさわる職人の技術等により、今日まで継承されてきました。一般的に「京の伝統野菜」と「ブランド京野菜」の2つを総称して呼ばれています。京野菜を使ったスイーツ、京野菜検定もあります。私たちが日々生活している同じ風土で、丹精込めて作られ、今後も永きに渡り継承されるであろう「京野菜」をこれからも日常の食卓にとり入れ、伝統を感じてみてはいかがでしょうか？



京野菜を食卓へ

	定義	代表的なもの	特長
京の伝統野菜 約40品目	○明治以前の導入栽培の歴史を有する ○対象は京都府全域 ○竹の子は含まれるがきの子類は除く ○栽培又は保存されている(絶滅した品種を含む)	万願寺とうがらし	食物繊維・ビタミンCが豊富 肉厚だが軟らかく、甘みが強い
		加茂なす	身体を冷やす効果あり 肉質が緻密で煮崩れしにくい
		堀川ごぼう	食物繊維・ビタミンCが豊富 繊維が軟らかく味が染み込みやすい 一般のごぼうに比べ、高血圧予防に役立つカリウムが約2倍
		みず菜	食物繊維・ビタミンC・Eが豊富 臭み消し作用がある
ブランド野菜 約20品目	○京都のイメージが強い ○一定の出荷量と品質を満たしているもの	丹波黒大豆	たんぱく質が豊富(畑のお肉) 煮崩れしにくい
		丹波栗	ビタミンC・Eが豊富 色落ちしにくく、煮崩れしにくい
		金時人参	肉質が軟らかく、甘みが強い 一般の人参に比べ、ビタミンCが約2倍

京野菜レシピ

★加茂なすの
ゲラタン
131kcal

材料(1人分)
加茂なす1/2個、玉葱20g、サラダ油・塩コショウ少々
ホワイトソース60g、とろけるチーズ1/2枚、
パプリカ10g、ズッキーニ5g

《作り方》
①加茂なすを縦半分に切り、なすの身をくりぬく
(格子状に包丁を入れ、スプーンでくりぬくと簡単)
②くりぬいた加茂なすと玉葱をフライパンで炒め、軽く塩こ
しょうで味付けする
③加茂なすの器に炒めた②を入れ、表面にホワイトソース
をかけ、とろけるチーズをのせる
④③にパプリカ・ズッキーニ・パン粉を散らし、オーブンで約
10分焼く。焼き色がついたら出来上がり

★万願寺とうがらし
の網焼き
57kcal

材料(1人分)
万願寺とうがらし1本、油揚げ5g
かつおぶし・しょうゆ(ポン酢)適量

《作り方》
①万願寺とうがらしを斜め半分に切る
②油揚げは食べやすい大きさに切る
③網に並べ、こんがり焦げ目がつくまでコンロで焼く
④焼けたらお皿に盛り付け、かつおぶしをかける
しょうゆ、ポン酢などをかけて頂く

武田病院
栄養科
森田 秀之



くすりのお話



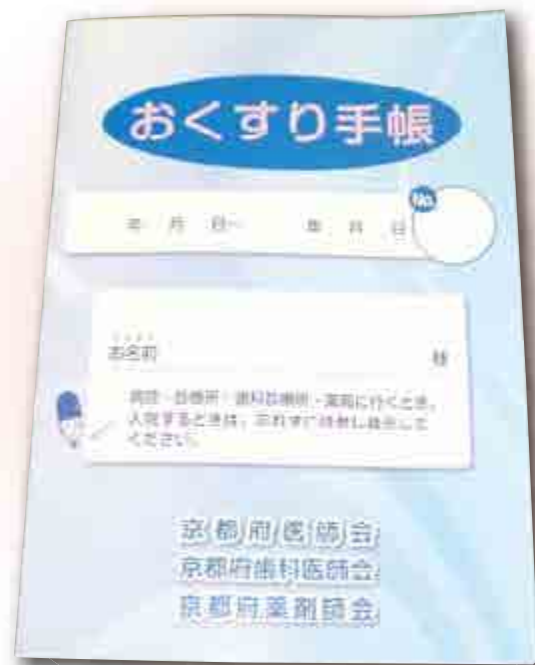
最近病院でも「お薬手帳」を出される方が増加してきました。今、日本の病院で使える薬として認められているものは、実に1万数千品目を超えています。血圧の薬一つをとっても、作用点(効果の仕組み)の違いにより数種類に分類されます。また同じ成分でも複数の会社が製造していると、全く違う名前になります。さらに同じ名前の薬でも、1錠中に含まれている量が10mgと20mgという具合に複数の規格が存在するのです。薬の名前を覚えていても10mgと20mgのどちらを飲んでいるのかまで正確に言える方は少ないでしょう。それが複数種類になると困難を極めます。そんな時役立つのが「お薬手帳」です。1冊のノートに処方された情報を記録します。これで自分の飲んでいる薬の名前・規格・用量が一目でわかります。

これさえあれば、他の医療機関を受診する時、医師に見せれば今までの服用歴の情報を伝える事が出来ます。もう一歩上手な活用法としては、服薬時に経験した副作用の情報やその他気になった事を記録しておく。次の回の受診時に忘れる事なく主治医に伝えることが出来ます。一方で、複数の病院で処方された薬を一冊の手帳に記録する事により、重複や飲み合わせ等のチェックにも役立ちます。2011年3月の東日本大震災の発生以降、「お薬手帳」の有用性が認められ一気に普及しました。津波で多くの物が失われたあの災害の折、服薬情報の伝達として非常に役立つたからです。「お薬手帳」はその人の服薬の歴史が詰まっています。過去にどのような薬を服用し、どのような副作用を経験したか、又、現在どのような薬を服用してい

「お薬手帳」をお持ちですか？

るのかを、正確に他者に伝える為の有効な手段です。手帳は薬局で無料で作ってもらえます。ただし記録する事には情報提供料として負担(数十円)が必要です。

1冊の手帳の情報を複数機関で共有しよりよい医療サービスを受けるために役立ててください。



稲荷山武田病院
薬局長
松井 智子





健康寿命を延ばすために 身体活動を10分増やそう！

医仁会 疾病予防センター
健康運動指導士

鈴木 喜也



平成25年3月に厚生労働省が「健康づくりのための身体活動基準2013」を公表しましたが、みなさんご存知でしょうか？これは安全で疾病予防に有効な運動や生活活動を広く国民に普及することを目的としています。今回のポイントは「運動基準」でなく、「身体活動基準」であることです。なお、この基準は健康な方を対象としたもので、病気をお持ちの方は主治医や運動の専門家と相談してから始めることをおすすめします。

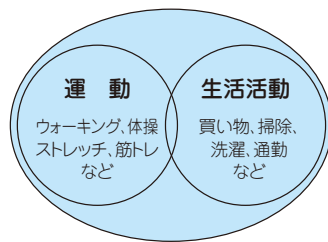
身体活動不足が死の危険因子に

平成9年と平成21年の平均歩数の比較では、15歳以上の男女とも約1000歩減少（男性8202歩↓7243歩、女性7282歩↓6431歩、各約10分の身体活動に相当）しています。また世界保健機関は高血圧、喫煙、高血糖について身体活動不足を全世界の死亡に対する危険因子の第4位と位置づけており、歩行減少による身体活動不足は注意が必要です。

身体活動を増やすメリット

身体活動とは、安静にしている状態よりも多くのエネルギーを消費する全ての動作を指します。それは、日常生活における労働、家事、通勤通学等の「生活活動」と、体力の維持・向上を目的とし、計画的・継続的に実施される「運動」の2つに分けられます（図参照）。健康のために30分歩くのも、買い物で30分歩くのも体を動かしていることに違いはありません。また、今より毎日10分ずつ長く歩くようにするだけで糖尿病、心臓病、脳卒中、がん、口コモティブシンドローム、うつ、認知症の予防に有効との報告があります。その為、運動と生活活動を含めた身体活動を増やすことが大切です。

身体活動



10分多く動く工夫

どう始めればいいのか分からない、以前にも運動していたけど長続きしなかったという方には「10分プラステン」の取り組みがおすすめです

健康づくりのための身体活動基準2013

年齢	身体活動の目標（運動）	達成
65歳以上	強さを問わず、身体活動を毎日40分	—
18~64歳	30分以上の強度の身体活動（歩行又はそれと同等以上の歩行）を毎日60分 ※歩行以外の強度は300%、40%、800% ※歩行、ジョギング、自転車乗車など	30分以上の強度の運動（歩行又はそれと同等の強度）を毎日60分 ※ジョギング、ランニング、自転車乗車、エアロビクス、ダンスなど
18歳未満	毎日60分以上、楽しく体を動かすことが望ましい	—

※ステップとは運動強度の単位で、歩行を1として、同じエネルギーを消費するがより活動的強度を表したものです。

身体活動の目標（表参照）
身体活動の目標は、18〜64歳では3メッツ（歩行など）の身体活動を毎日60分、65歳以上では強度を問わず（横になったままや座ったままを除く）身体活動を毎日40分行うことがおすすめです。また18〜64歳の方は、週60分の息が弾み汗をかく程度の運動を加えることもおすすめです。

です。これは①気づく②始める③達成する④つなげるの4つから構成されています。『気づく』—自分の生活を振り返り、体を動かす機会や環境を振り返りましょう。万歩計等を用いて、今の生活でどの程度の歩数があるかを知ることが大切です。

『始める』—少し歩幅を広くして歩いてみる、地域のイベントに参加してみる、テレビを見ながら筋トレやストレッチを行ってみるなど、無理なくできることから始めましょう。

『達成する』—達成しやすい目標設定を行い、段階的に身体活動量を増やしましょう。現在、1日の平均歩数が8000歩未満の方は1000歩（約10分）ずつ増やしていくようにしましょう。

『つなげる』—家族や仲間と動くことで継続率が高まります。また自分の足で元気に動ける喜び、楽しさや体力向上の効果を感じながら共有しましょう。

（参考）厚生労働省ホームページ
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002xpie.html>

平成24年4月の介護報酬改定を振り返る

武田病院グループ
本部福祉事業部
老人保健施設担当

小林 啓治
部長

体で支える体制の充実
が必要であり、今後調査・研究等を進め、次期介護報酬改定に向けて結論が得られるよう議論を行う。

4. 質の高いサービスの確保

介護サービスの質を評価するため、要介護度等の変化を介護報酬上評価することについて「介護サービスの質の評価のあり方」に係る検討委員会において検討が進められたが、要介護度等は様々な要因が複合的に関連した指標であり、その変化には時間がかかることも、利用者個人の要因による影響が大きいとの指摘がなされた。

しかしながら、介護サービスの質を向上させることは、大変重要な課題であるため、まずは要介護認定データと介護報酬明細書（レセプト）データを突き合わせたデータベースの構築をはかるなどの手段により、具体的な評価手法の確立を図る。

□認知症対策として、京都府ではオレンジプランの具体策として、平成25年度事業の京都市域域包括ケアの環として「認知症プロジェクト」の推進を七つの柱の二つにあげており、認知症疾患医療センターを全医療圏域に1カ所、府内8カ所に設置、早期発見につなげるための京都府認知症コールセンター☎0120-294-677を開設し対応を進める。

【退院後の介護サービス等を見越した取り組みの評価】



【診療方針の変更等が必要な場合】



【在宅の主治医を中心とした情報共有のイメージ】



在宅の主治医を中心とした情報共有のイメージ
在宅患者の診療方針の決定に係るカンファレンスの評価

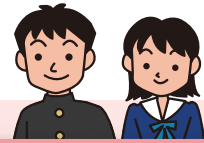
100号からの続き

3. 認知症にふさわしいサービスの提供

認知症の人が可能な限り住み慣れた地域で生活を続けていくため、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型通所介護、認知症対応型共同生活介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設において必要な見直しを行う。在宅の認知症の人やその疑いのある人について、その症状やその家族の抱える不安などの状態把握を行うとともに、専門医療機関における確定診断や地域の医療機関（かかりつけ医）からの情報提供を受け、対象者の認知症の重症度、状態等のアセスメントを行う。

地域包括支援センター等を中心として、医療介護従事者、行政機関、家族等の支援に携わる者や対象者が一堂に会する「地域ケア会議」を実施し、アセスメント結果を活用したケア方針（将来的に状態が変化し重症となった場合や緊急時対応等を含む。）を検討決定する。このような基本的枠組みを全国で構築していくためには、

1. 認知症早期診断・治療、ケア体制の確立と認知機能の低下予防
2. 認知症にふさわしい介護サービス事業の普及
3. 認知症ケアモデルの開発とそれに基づく人材の育成
4. 市民後見人の育成など地域全



『高等学校出前講座』コメント

やっぱり、コミュニケーションは大切なんだなと思った。いやな事があっても続けられるのは、やりがいがあるからなんだなと思うし、「やりがい」の大切さを知った。

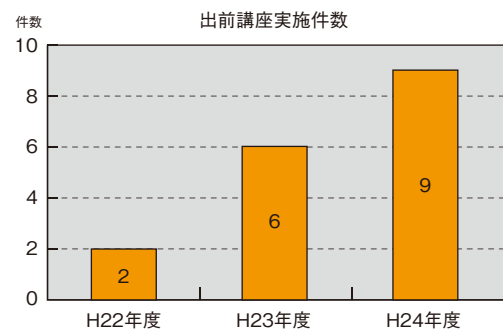
「看護師の仕事って大変そう」と思っていたけれど、看護師の仕事だけが特別大変なわけではなくて、「働く」ということ自体が大変なのだなと思った。将来、自分が責任をきちんと果たせるかどうか不安にもなったけれど、お話し下さった方々がとても生き生きとして見えたので、私もそうなれるように頑張ろうと思った。

先輩看護師からの話を聞いて、看護師の仕事についてプラスのイメージが大きくなった。スライドに笑顔の患者さんが映っていて、私もこの笑顔をとくさん見るために頑張ろうと思った。

私はなりたい職業や大学も決めている。目標を達成するには努力が必要だが、あきらめてしまいそうになったことが何度かあった。でも、夢を夢のままに終わらせたくないし叶えたい。今日、先輩看護師の話を聞き、一層強く思うようになった。今日から夢に向かって一歩ずつ歩いていきたい。

《もっと聞きたかったこと、知りたかったことランキング》 ～アンケート結果より～

- 1位 : 学校の種類や特徴、選択する上での留意点
- 2位 : 看護師に必要なこと、求められていること
- 3位 : 仕事を続ける上で大変だった事、辛かった事
- 4位 : コミュニケーション力や精神力をアップするには
- 5位 : 助産師、保健師、養護教諭、認定看護師について
- 6位 : 男性看護師の数や働き方について



病院見学や就職を希望される方、ブリッジの会の活動を詳しくお知りになりたい方は、下記、武田病院グループ看護部人材センターへご連絡、お問い合わせください。

TEL:075-354-7117 FAX:075-354-7118
e-mail:nurse@takedahp.or.jp URL:http://takedahp.or.jp/nurse/



携帯サイト

※ブリッジの会=武田病院グループの看護の魅力を伝えるプロジェクト

を寄せていただきました。少子高齢化が進むわが国では5半世紀後には、子供の人口比率が6%になると言われており、看護の担い手の確保はますます困難が予測され

ます。今後も、ブリッジの会では、皆様の支援を受けながら看護の次世代を育む活動を継続してまいります。

- 出前講座
出前講座とは、高校生、看護学生が看護職に興味や関心を持てるように、また、保健・医療・福祉のあらゆる現場で働く看護師の仕事の内容や、やりがいを伝える出前授業のことで
- 内容
・ 自らの看護師への道のり（看護師をめざしたきっかけ）
・ 進学・就職に向けての体験談
・ 学校生活について
・ 看護の仕事の実際
・ 質疑応答



ブリッジの会 定例会議



高等学校出前講座

をするなど改善にも取り組みました。また、定例会議では、発表内容の検討やリハーサルを重ねておこなう、新しいメンバーも自信を持ってプレゼンできるように工夫しました。その結果、今年度の出前講座の依頼件数は9校（参加者658名）へと増え、満足度（8%）という高い評価を頂きました。毎年継続しての依頼や、看護体験や病院見学の申し込みへとつながるようになってきました。看護・医療系への進学を考えている学生さんにとって、先輩看護師に直接話を聞けるまたとない機会となり、「普段は知ることができないような看護の仕事について具体例がたくさん示されていて、質問もできました。さらに看護師になりたいという思いが強くなった」「高校生の今、何をしておけばよいのか、考える機会となった。夢を実現するために一歩ずつ努力したい」など好評を得ることができました。また、進路指導担当の先生からは、「この講義を受けた後、進路についてより具体的に考えるようになり、指導室へ相談に訪れるなど行動する学生が増えてきました」「看護・医療系の進路学習ガイダンスとして、これからも計画していきます」など嬉しいコメント

平成22年、新しい形のリクルーター制度として導入されたブリッジの会の活動は、4年目を迎えました。卒業2～4年目の臨床の看護師が、看護学生セミナー、就職説明会、高等学校等での出前講座など様々な場面で看護の奥深さや醍醐味を「語り伝える」活動をしてきました。主な活動の中から、出前講座について、紹介します。

未来の看護を担う後輩たちへつなぐ ブリッジの会活動報告

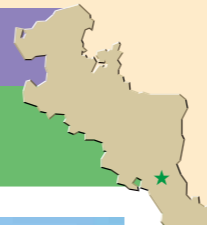
看護部人材センター



人と人とをつなぐかけ橋となる
心が通う看護を伝える
高めあえる仲間となる

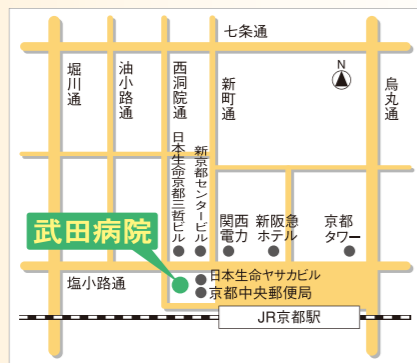
24時間体制で手厚いスタッフを配置
救急救命医療を軸に、地域を支える地域医療支援病院

医療法人 財団 康生会 **武田病院**



DATA

- 院長／葛谷 英嗣
- 病床数／総病床数394床 SCU6床、ICU-CCU10床、開放型病床15床、血液透析8床
- 診療科目／内科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科
〈循環器センター〉〈消化器センター〉〈呼吸器センター〉〈透析センター〉
〈神経脳血管センター〉〈睡眠呼吸医療センター〉〈不整脈治療センター〉
〈脳卒中センター〉H25.4.開設
- 専門外来／不整脈科、糖尿病外来、乳腺外来、内分泌・甲状腺外来、高血圧・内分泌外来、腎臓内科外来、直腸肛門外来、睡眠時無呼吸外来、形成外科外来、脳疾患予防外来、物忘れ外来、脳電図外来、腎不全外来、セカンドオピニオン外来
- 告示・指定／地域医療支援病院、救急告示病院、臨床研修指定病院、開放型病院、日本医療機能評価機構認定病院、ISO9001:2008認証
- 受付時間／午前8時～12時30分／午後1時～4時
- 診療時間／午前9時～12時30分／午後2時～4時
※急患は24時間受付しています
- 住所／〒600-8558 京都市下京区堀小路通西洞院東入東堀小路町841-5
- TEL／075-361-1351(代表)
- FAX／075-361-7602
- アクセス／JR「京都駅」より徒歩5分



■地域医療支援病院

循環器内科インターベンション治療をはじめ心臓血管外科や脳神経外科、消化器内科など手厚いスタッフで24時間の受け入れを行う救急医療を中心に、急性期に軸足を置いた医療を展開。地域医療の中核を担う地域医療支援病院として、他の医療機関との更なる連携体制の構築にもつとめています。

■幅広い分野に及ぶ高度先進医療を行っています

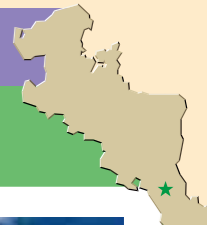
武田病院は、昭和45年の開設以来、救急救命医療に力点を置き、様々な医療サービスの提供に取り組んできました。特に救急分野においては、近隣他病院に先駆けてICU/CCUを設置。また平成25年4月からSCUを開設いたしました。内科、外科をはじめとする循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科の各医師が24時間体制で救急患者の受け入れを実現しています。年間の救急搬入件数は4,500件以上にのぼります。

■平成24年度 診療実績

入院延患者数	92,388人(前年度実績 94,879人)
外来延患者数	178,739人(前年度実績 183,977人)
平均在院日数	14.4日(前年度実績 14.6日)
救急件数	4,572件(前年度実績 4,170件)
病床利用率	88.8%(前年度実績 91.8%)
新患率	12.7%(前年度実績 12.6%)
全手術症例数	1,732件(前年度実績 1,612件)
心臓血管カテーテル件数	868件(前年度実績 890件)
不整脈アブレーション件数	323件(前年度実績 299件)
心臓血管外科手術件数	126件(前年度実績 142件)
ペースメーカー植込み術件数	93件(前年度実績 81件)

守備範囲は救急および高度医療からリハビリ、在宅にいたるまで
総合的な診療体制を整える地域のヘルスケアリーダー

医療法人 **医仁会武田総合病院**



DATA

- 院長／森田 陸司
- 病床数／総病床数500床 SCU3床、ICU-CCU10床、開放型病床25床、血液透析34床
- 診療科目／総合診療科、血液内科、神経内科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、心臓血管外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科・口腔外科、リハビリテーション科〈糖尿病センター〉〈血液透析センター〉〈健康管理センター〉〈救急医療センター〉〈附属リハビリセンター〉〈疾病予防センター〉〈脳卒中センター〉
※特定健康診査実施施設
- 専門外来／小児アレルギー外来、不整脈科、小児神経外来、小児循環器外来、神経筋外来、胆石外来、直腸肛門外来、甲状腺・内分泌外来、糖尿病外来、乳腺外来、小児喘息外来、乳児健診、栄養相談、血液透析、ヘルニア(脱腸)外来、小児整形外科、褥瘡外来、脳波外来、神経筋クリニック、小児心臓外来、緩和ケア外来、睡眠時無呼吸外来、結石外来、骨粗鬆症外来
- 告示・指定／救急告示病院、日本医療機能評価機構認定病院、臨床研修指定病院、開放型病院、京都府がん診療推進病院
- 受付時間／午前8時～12時／午後5時～7時
※耳鼻科外来の午前診の初診の受付は午前11時まで。
- 診療時間／午前9時～12時／午後5時30分～7時
※日祝日は休診。ただし、急患は24時間受入。
- 休診日／日・祝
- 住所／〒601-1495 京都市伏見区石田森南町28-1
- TEL／075-572-6331(代表)
- FAX／075-571-8877
- アクセス／JR「六地藏駅」より徒歩12分、京阪バス「武田総合病院前」下車スグ「石田」より徒歩5分、地下鉄東西線「石田駅」より徒歩2分、醍醐コミュニティバス「武田総合病院前」下車すぐ、京阪電車「六地藏駅」より徒歩15分
- 駐車料金／有料／台数 200台



■地域に根差し、総合的な診療を展開

医仁会武田総合病院は、洛東・洛南のベッドタウンに位置し、地域の中核病院としての役割を担っております。現在、21の診療科目と30に及び専門外来を有し、救急医療センター、ICU-CCU-SCUを始め、消化器センター、糖尿病センター、総合リハビリセンター等を配置しており、地域のあらゆるニーズに対応する体制を確立しています。

■充実の24時間救急体制

武田総合病院救急医療センターでは、内科・外科・脳神経外科・循環器内科・産婦人科・小児科の6診療科の各医師が24時間365日待機し、年間で延べ4000人以上の救急患者さんを受け入れています。また民間病院でいち早く臓器提供病院の指定を受けていることも、急性期医療、特に救急医療へ力点を置いていることを象徴しています。脳卒中ケアユニットを設置し、多職種からの専門チームにより、24時間365日体制で脳卒中急性期患者さんの治療にあたっています。

■患者さん中心の医療の取り組み

- 医仁会武田総合病院は、「患者さん中心の医療」を実現するため、様々な取り組みをしています。
- クリティカルパスを通じて、患者さんに治療スケジュールの理解や、積極的に治療に参加していただける医療を推進しています。
 - 医療スタッフと患者さんとの十分なコミュニケーション、密なパートナーシップでより良い治療を実現するため、インフォームド・コンセントを重視しています。
 - 患者さんと診療情報を共有し、納得の医療を実現するために、希望する患者さんにカルテ開示を行なっております。
 - 患者さんが十分に納得できる治療の提供に向けて、外部医療機関に対するセカンドオピニオン聴取のご希望に随時お応えしております。
 - 患者さんの「かかりつけ医」との共同診療を行なう開放型病院を推進することで、患者さんが安心・信頼いただける質の高い医療を提供しています。

皆様の健康で生き生きとした生活のサポートをめざし
病気の治療や予防はもとより、美容に関する悩みにも対応

医療法人 財団 康生会 **北山武田病院**



北山武田病院では風邪や腹痛などのプライマリ・ケアから、生活習慣病の治療や予防、循環器、整形外科、皮膚疾患の専門診療まで対応しています。また美容皮膚科・形成外科では、さまざまな美容に関する悩み、お肌のトラブルに、レーザーニング、フラクセル、フォトRF、メディカルエステなどによる最新の治療を提供しています。

その他、禁煙、下肢静脈瘤の専門外来を設置し、武田病院グループや地域の医療機関とも密接な連携を保って患者さんにより良い医療を提供できるように努めています。

DATA

- 院長 / 栗岡 成人
- 病床数 / 総病床数 60床
- 診療科目 / 形成外科、皮膚科、美容皮膚科、内科、消化器内科、循環器内科、整形外科、歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科 ※特定健康診査実施施設
- 専門外来
美容治療(レーザーニング・フラクセルII・フォトRF各種レーザー手術・ケミカルピーリング・ホトックスピスタ・ピラス・医療脱毛)禁煙外来、循環器外来、下肢静脈瘤外来、歯科診療(入院を伴う歯科口腔外科手術、インプラント、審美歯科、予防歯科)
- 医科診療時間 / 午前9時~12時 午後1時30分~3時30分
午後5時30分~8時 (一部予約制)
- 歯科診療時間 / 午前9時30分~12時 (水・金) 午後1時30分~6時30分
(月・火・木) 午後2時~5時 (予約制) (休診日 日・祝)
- 住所 / 〒603-8053
京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町99番地
- TEL / 075-721-1612(代表)
075-721-1631(歯科)
- FAX / 075-701-7399
- アクセス / 地下鉄烏丸線「北山駅」、2番出口より徒歩3分
- 駐車場 / 無料(1時間) / 30台



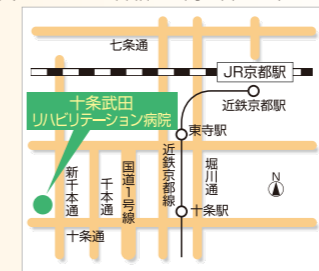
救急医療からリハビリテーションまで幅広い機能を整備
「家庭復帰」を目標に医療と在宅との架け橋となる地域の総合医療機関

医療法人 財団 医道会 **十条武田リハビリテーション病院**



DATA

- 院長 / 若林 昭
- 病床数 / 総病床数 182床 開放型病床5床、回復期リハビリテーション病床99床、血液透析ベッド20床
- 診療科目 / 内科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、リハビリテーション科、心療内科、皮膚科、麻酔科、糖尿病内科、リウマチ科、肛門外科(うつ予防医療センター)〈糖尿病センター〉〈血液透析センター〉〈総合リハビリテーションセンター〉〈人工関節センター〉
- 専門外来 / 糖尿病外来、甲状腺外来、免疫・リウマチ外来、睡眠時無呼吸外来、禁煙外来、乳腺外来
- 告示・指定 / 救急告示病院、開放型病院、日本医療機能評価機構認定病院
- 受付時間 / 午前8時~12時 / 午後0時~午後4時 / 午後4時30分~8時(夜診)
- 診療時間 / 午前9時~12時 / 午後1時~午後4時 / 午後5時30分~8時(夜診)
- 専門診 / 午後1時30分~3時(曜日により異なりますので詳細をお問い合わせ下さい)
- 休診日 / 日・祝
- 住所 / 〒601-8325
京都市南区吉祥院八反町32番地
- TEL / 075-671-2351(代表)
- FAX / 075-671-2961
- アクセス / 市バス「羅城門」を南へ徒歩7分、「千本十条」より徒歩1分、近鉄線「十条駅」から西へ徒歩15分
- 駐車料金 / 有料 / 台数 34台



急性期の治療を脱した患者さんへの365日の回復期リハビリテーションを中心に、障害を持たれた患者さんが早期に社会復帰していただくための機能を有しています。

また、救急部門をはじめ、6つの専門外来、さらに昨今の高齢化社会を見据え、糖尿病センター、血液透析センター、うつ予防医療センター、総合リハビリテーションセンター、人工関節センターを開設しております。

患者さんが初期に接する家庭医療が容易に得られる身近な病院です。

地域住民の方々とともに歩んで50余年
健康保持・予防医学の徹底・普及に努めています

指定管理者 医療法人 医仁会 **精華町国民健康保険病院**

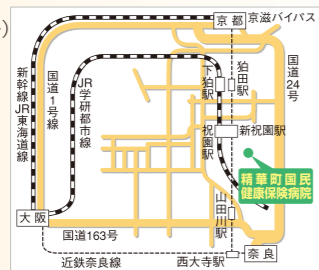


精華町国民健康保険病院は、平成18年から医療法人医仁会が指定管理者として運営を開始。

これまで培った、地域の方々とのつながりを大切に、開業医の先生との連携を深めながら、地域における健康保持・予防医学の徹底・普及に努めます。また、血液透析(20床)、歯科(矯正歯科・小児歯科・歯科口腔外科・インプラント)の治療も充実しています。

DATA

- 院長 / 青山 英久
- 病床数 / 総病床数 50床 (障害者施設等一般) 血液透析 20床
- 診療科目 / 内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、歯科、口腔外科、小児歯科、矯正歯科
(透析センター)
- 専門外来 / 循環器科、心療内科、呼吸器科、腎臓内科
- 告示・指定 / 救急告示病院
- 診療時間 / 月~金:午前8時30分~12時 土曜日:午前8時30分~11時30分
- 休診日 / 日・祝
- 住所 / 〒619-0241 京都府相楽郡精華町祝園砂子田7番地
- TEL / 0774-94-2076(代表)
0774-94-2640(歯科)
0774-94-3251(透析センター)
- FAX / 0774-93-2818
- アクセス / JR学研都市線「祝園駅」・近鉄京都線「新祝園駅」下車、東へ徒歩2分
京奈和自動車道精華学研ICから10分
- 駐車料金 / 無料 / 台数 32台



最新の医療機器と充実の療養環境を備え、裾野の広い医療を実践
地域の人々の信頼のもと、地域医療に貢献する開かれた病院

宇治武田病院



DATA

- 院長 / 勝見 泰和
- 病床数 / 総病床数 177床 開放型病床15床、血液透析50床
- 診療科目 / 内科・循環器内科・消化器内科・糖尿病内科・内分泌科・腎臓内科・神経内科・アレルギー科・外科・肛門外科・整形外科・脳神経外科・形成外科・リウマチ科・小児科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・歯科・歯科口腔外科・麻酔科
- 専門外来 / 糖尿病外来、呼吸器外来、小児発達外来、小児循環器外来、血液内科、小児アレルギー外来、心臓血管外科、ペースメーカー外来、心筋症・心不全外来、乳腺外来、上肢の外科外来、スポーツ外来、ペイン外来、睡眠時無呼吸外来、甲状腺外来、もの忘れ外来、失語症外来
- 告示・指定 / 救急告示病院、開放型病院、日本医療機能評価機構認定病院、臨床研修指定病院、歯科医師臨床研修指定病院、人間ドック健診施設機能評価認定
- 受付時間 / 午前8時30分~11時30分 / 午後12時45分~4時15分
※診療科は診療担当表をご参照下さい。(予約可)
- 診療時間 / 午前9時~12時 午後1時15分~5時
- 休診日 / 土午後・日・祝 但し、急患は24時間受付。
- 住所 / 〒611-0021
京都府宇治市宇治里尻36-26
- TEL / 0774-25-2500(代表)
- FAX / 0774-25-2353
- アクセス / JR奈良線宇治駅から徒歩3分、京阪宇治線宇治駅から徒歩10分
- 駐車料金 / 有料 / 台数 201台



放射線がん治療機「トモセラピー」をはじめMRI(1.5T)CT(64列マルチスライス)など高度な医療機器を一新、プライバシーを重視した個室で明るい療養環境の病室を整備し、平成19年4月に新築した一般病院(177床)です。

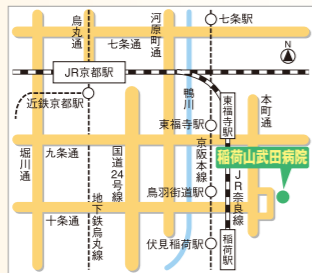
24の標榜診療科と専門外来、放射線治療センターや全自動透析機器整備の血液透析センター、明るく広大なリハビリセンター、高次脳機能センターと健診センターを併設。隣接の特別養護老人ホームと併せて、安心して安全な医療と福祉を地域に提供しています。

終末期医療への専門的な取り組みを新たに加え、地域に密着した医療・看護を展開します

医療法人 財団 医道会 稲荷山武田病院



京都・東山連峰の南端に位置する稲荷山武田病院。当院は昭和9年に設立され、付近には東福寺や伏見稲荷大社を臨む、緑豊かな閑静な立地環境にあり、季節ごとに花が咲き、自然が身近に感じられる病院です。設立以来地域医療に根ざして参りましたが、平成24年9月より従来の障害者病棟に加え、緩和ケア病棟を新たに開設し、医療と終末期ケアに取り組んでまいります。



DATA

- 院長／田中 友二
- 病床数／総病床数55床（緩和ケア病棟18床、障害者施設等一般37床）
- 診療科目／内科、呼吸器内科、胃腸内科、循環器内科、外科、整形外科、肛門外科、泌尿器科
- 専門外来／糖尿病
- 告示・指定／日本医療機能評価機構認定病院
- 受付時間／午前8時30分～12時
- 診療時間／午前9時～12時
- 休診日／日・祝
- 住所／〒612-0801 京都市伏見区深草正覚町27番地
- TEL／075-541-3371(代表)
- FAX／075-532-5115
- アクセス／京阪電車「鳥羽街道駅」東へ徒歩5分 JR奈良線「稲荷駅」北へ徒歩10分

地域の患者さんのニーズに的確に応えられる安心でやさしい医療の提供を目指しています

医療法人 財団 宮津康生会 宮津武田病院

DATA

- 院長／曾根 淳史
- 病床数／総病床数65床（障害者施設等一般）〔血液透析20床〕
- 診療科目／内科、消化器内科、循環器内科、外科、消化器外科、肛門外科、皮膚科、形成外科、整形外科、泌尿器科、麻酔科、人間ドック ※特定健康診査実施施設
- 受付時間／午前8時30分～11時30分 午後1時30分～4時30分
※土曜日の診察受付は午前11時30分まで
- 診療時間／午前9時～12時 午後2時～5時
※土曜日の診察は午前12時まで
- 休診日／日・祝
- 住所／〒626-0041 京都府宮津市鶴賀2059番地の1
- TEL／0772-22-2157(代表)
0772-22-2221(地域連携室)
- FAX／0772-22-1125
- アクセス／北近畿タンゴ鉄道「宮津駅」より徒歩3分 国道178号線沿い、宮津漁連前
- 駐車料金／無料／台数 20台



地域医療を取り巻く環境が刻々と変化中、今あらためて当院が目指すのは「患者さんのニーズに的確に応える、安心でやさしい医療の提供」です。この実現に向け、医師・看護師といったソフト面、医療機器や設備などハード面のさらなる充足を図る努力を続けております。その結果として、これからも地域の皆様に親しまれ、末永く、共に歩んでいける病院を目指しております。

幅広い医療の提供によって、地域住民の方々の健康的な暮らしを支えるホームドクター

武田病院グループ診療所

医療法人 財団 康生会 康生会クリニック

京都駅前という交通至便な立地にて多くの生活習慣病関連の専門診療科と歯科口腔外科を併設した多機能なクリニックです。

- 所長／武田 定子 ●診療科目／内科、小児アレルギー科、歯科口腔外科 ●診療時間／午前9時～12時／午後2時～4時 ●休診日／日・祝
- 住所／〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚ノ棚下油小路町277 ●TEL／075-354-7227 ●FAX／075-354-7228
- アクセス／JR「京都駅」より徒歩5分



医療法人 財団 康生会 柳馬場武田クリニック

プライマリーケア・住診・訪問看護・定期健診(特定健診)を担当しています。

- 所長／浅沼 光太郎 ●診療科目／内科、整形外科、神経内科、皮膚科、リハビリテーション科、眼瞼けいれん、斜頸、痙攣、ボトックス治療 ※特定健康診査実施施設 ●診療時間／午前9時～午後1時(月～金)／午後2時～5時(月～金) ●休診日／土・日・祝 ●住所／〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町407番地 シティーハウス407 1F ●TEL／075-213-2216 ●アクセス／地下鉄四条駅・阪急電車烏丸駅 徒歩約8分



指定管理者 医療法人 医仁会

辰巳診療所

内科・小児科および外科疾患にも対応し、地域住民の方々の健康に対する幅広いニーズにお応えできるよう住診や訪問診療及び定期健診(特定健診)も随時受け付けております。

- 所長／上田 忠 ●診療科目／内科、小児科、外科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、整形外科、リハビリテーション科 ●診療受付時間／午前9時～12時(月～土)／午後1時30分～4時30分(第2、4火のみ)／午後5時～7時(月・水のみ) ●休診日／日・祝 ●住所／〒601-1345 京都市伏見区醍醐外山街道町21番地 ●TEL／075-571-8545 ●FAX／075-571-8555 ●アクセス／醍醐コミュニティバス「東合場町」バス下車徒歩2分



医療法人 財団 康生会

京都壬生苑診療所

介護付終身利用型有料老人ホーム「ウエルエイジみぶ」の入居者の方々を対象とした診療所です。

- 所長／池田 宣昭 ●診療科目／内科・神経内科 ●住所／〒604-8821 京都市中京区壬生塚ノ宮町31 ●TEL／075-823-3371 ●FAX／075-822-6550

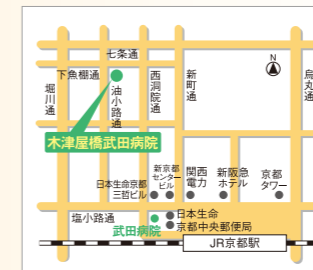


質の高いプライマリーケアと高齢者に対する療養医療 思いやりの心にあふれた療養型病院

木津屋橋武田病院

DATA

- 院長／橋本 恵
- 病床数／総病床数111床（介護療養型病床）
- 診療科目／内科、循環器内科、リハビリテーション科、神経内科
- 専門外来／甲状腺内分泌内科、高齢者総合外来(高齢者訪問診療内科)
- 告示・指定／指定介護療養型医療施設・介護サービス第三者評価受診施設
- 受付時間／午前9時～12時30分(土曜は午前診療のみ)／午後1時～4時／午後5時～8時※予約診有り 往診・定期健診(特定健診)も随時受け付けます
- 休診日／日・祝
- 住所／〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚ノ棚下油小路町293(油小路通七条下る)
- TEL／075-343-1766(代表)
- FAX／075-343-5739
- アクセス／JR「京都駅」より徒歩9分 京都市営地下鉄「京都駅」、近鉄「京都駅」より徒歩10分 京都市バス「七条堀川」より徒歩1分
- 駐車料金／無料／台数 5台



木津屋橋武田病院は、JR京都駅から歩いて10分足らずという交通至便の地に在りながら、京都という土地柄のせいでしょうか、ビジネス街の活気あふれる大通りから路地一つ入れれば落ち着いた町並みが広がり、昔ながらの京都の生活をかいま見ることのできる絶好の療養環境にそのたたまいを保っています。「お西さん」と親しまれる西本願寺もすぐ傍にあり、「心のふるさと京都」を実感させられる雰囲気の中、私たち職員が常に心がけておりますことは、いかにして患者さんの老後が少しでも心豊かでやすらかなものになるかということではあります。患者さんの長年の人生の御苦労がすこしでも癒されますよう訪問診療(住診)のご相談を承ります。また、各種予防接種も対応可能です。ご家族の皆様が安心して大切な人を託していただけますよう、これからも、精進して参りたいと思います。

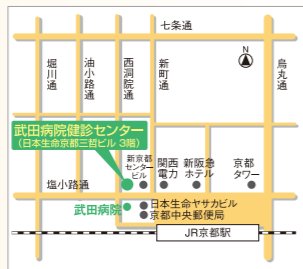
充実の健診システムで疾病の早期発見・健康増進に貢献する

医療法人 財団 康生会 武田病院健診センター



DATA

- 所長/榊田 出 ●認定等/人間ドック健診施設機能評価認定 日本総合健診医学会優良施設認定 全日本病院協会指定 健康保険組合連合会指定 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診指定 ※特定健康診査実施施設 ※特定保健指導実施施設
- 住所/〒600-8216 京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町608 日本生命京都三哲ビル3F ●TEL/075-365-0825 ●FAX/075-361-3829
- アクセス/JR「京都駅」より徒歩5分、京都市営地下鉄「京都駅」より徒歩5分、近鉄「京都駅」より徒歩5分、京都市バス「下京区総合庁舎前」すぐ



人間ドックはもちろん、内臓肥満やアンチエイジングなど多彩な健診プログラムを提供しています。



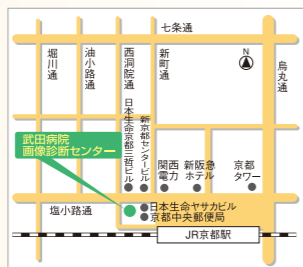
女性専用休憩室

がん・アルツハイマーの早期発見に尽力する最先端の画像診断センター

医療法人 財団 康生会 タケダ放射線科クリニック 武田病院画像診断センター

DATA

- センター長/林田 孝平 ●診療科目/内科・放射線科・人間ドック(がん検診) ●検査および予約受付時間/午前9時～午後5時 ●休診日/日・祝 ●建物の構造設備/RC造 地上5階、地下2階 ●医療機器/PET-CT SIEMENS TruePointBiograph 16(平成23年8月更新)、1.5T-MRI TOSHIBA EXCELART VantageXGV、cyclotron CTI RDS Eclipse 111 ●住所/〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下東塩小路町930番地 ●TEL/075-361-1680 ●FAX/075-361-1682 ●アクセス/JR「京都駅」より徒歩5分



最新鋭のPET-CTを駆使し、「がん」や「もの忘れ」、「認知症」の早期発見に尽力しています。

●お問合せご予約 フリーコール:007-77-5588
ホームページからも予約ができます。http://topic.takedahp.jp/



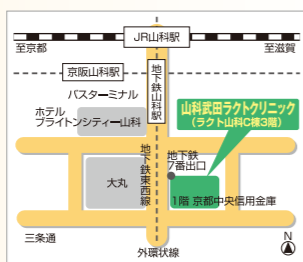
一人ひとりが、いつも健やかであるように

医療法人 財団 康生会 山科武田ラクトクリニック/山科武田ラクト健診センター



DATA

- 所長/田巻 俊一 ●認定等/人間ドック健診施設機能評価認定 日本総合健診医学会優良施設認定 健康保険組合連合会指定 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診指定 全日本病院協会指定 ●住所/〒607-8080 京都市山科区竹鼻竹ノ街道町92番地 山科駅前ラクト山科C棟3階 ●TEL/075-581-0910(クリニック)075-581-6696(健診センター) ●FAX/075-581-0991 ●診療科目/内科、循環器内科、神経内科、消化器内科、乳腺外来、婦人科 ※特定健康診査実施施設 ※特定保健指導実施施設 ●診療時間/午前9時～12時/午後2時～4時(予約診療) ※土曜は午前9時～12時 ●健診/人間ドック、脳ドック、各種健康診断 ●休診日/日・祝 ●アクセス/JR「山科駅」、京阪「山科駅」、地下鉄「山科駅」より徒歩3分



大学病院並の機器を備えて地域の皆様に貢献。脳ドックをはじめ各種健診も実施しています。



受付

癌に対する集学的治療を推進

たけだ診療所(免疫・遺伝子クリニック) 財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター関連施設

最先端の細胞免疫療法に加え、ワクチン療法、温熱療法(ハイパーサーミア)を併用することでより効果的な癌治療に取り組んでいます。

- 所長/武田 厚子 ●センター長/松山 竜三 ●治療/レトロネクセン®誘導Tリンパ球療法(Rit)、自家がんワクチン療法、温熱療法 ●受付時間/午前9時～午後5時完全予約制 ●休診日/土・日・祝 ●住所/〒600-8216 京都市下京区木津屋橋通新町西入東塩小路町 606-3-2 三旺京都駅前ビル1階 ●TEL/075-351-8282 ●FAX/075-351-8448 ●アクセス/JR京都駅より徒歩5分



交通アクセス良好な京都駅前の透析専門クリニック

医療法人 財団 康生会 京都駅前武田透析クリニック

治療のストレスを少しでも軽減していただけるような、リラックスできる環境を実現するために、プライバシーの確保を特に重視し、個室タイプとパーテーションによって仕切られた半個室をご用意しています。

- 所長/吉岡 徹朗 ●診療科目/血液透析科 ●治療時間/午前8時30分～午後1時/午後2時～10時 ●休診日/日 ●住所/〒600-8216 京都市下京区木津屋橋通新町西入東塩小路町606-3-2三旺京都駅前ビル6階 ●TEL/075-351-9200 ●FAX/075-351-9201 ●アクセス/JR「京都駅」より徒歩7分、専用送迎バスを無料運行、駐車場有(要事前連絡)



通常の患者さんと外来は完全分離 無料の専用送迎も行っています

医療法人 医仁会武田クリニック(血液透析センター)

長期透析に伴い発症する多くの合併症に対しても、京都市東部の急性期医療の一翼を担う医仁会武田総合病院の他科と連携しながら総合的な治療を行うなど、高い医療環境を構築しています。

- 所長/宇佐美 勝正 ●診療科目/腎透析科・腎不全外来 ●治療時間/午前8時30分～午後4時～10時30分 ●休診日/日 ●住所/〒601-1495 京都市伏見区石田森南町33-6 ●TEL/075-572-6984 ●FAX/075-572-6218 ●アクセス/地下鉄東西線「石田駅」より徒歩2分、専用送迎バスを無料運行、駐車場有(有料)200台



地域の皆様に高度な医療を提供する画像診断専門のクリニック

医療法人 財団 康生会 梶井町放射線診断科クリニック

DATA

- 所長/伊藤 博敏 ●診療科目/放射線診断科 ●診療時間(完全予約制)/月～金:午前9時～12時 午後1時～8時 土:午前9時～12時 午後1時～5時 ●休診日/日・祝 ●医療機器/3.0T-MRI PHILIPS Achieva、1.5T-MRI TOSHIBA EXCELART Vantage ●住所/〒602-0841 京都市上京区御車道通清和院口上る梶井町457番地 ●TEL/075-950-5751 ●FAX/075-950-5753 ●予約専用PHS/070-6507-8988 ●アクセス/京阪電車「出町柳駅」下車徒歩12分 市バス4・17・205系統「府立医大病院前」下車 ●お車でお越しの方は、河原町通り梶井町パーキングをご利用下さい(最大1時間20分までのサービス券を発行致します)。尚、当施設駐車場は身障者の方専用となっております。



最新鋭の3テスラ及び1.5テスラMRIを駆使し、高度な画像診断を地域の皆様に提供します。お問合せご予約075-950-5751 診療情報提供書はホームページよりダウンロードいただけます。(URL:http://www.kajiicho.jp/)



地域に密着した介護福祉・保健・医療のスペシャリストが結集した総合福祉施設

医療法人 医仁会

老人保健施設 白寿 ※☆☆◎

DATA

●施設長/田中 英夫●入所定員/30名(短期入所者を含む)●通所リハビリ定員/35名(1日あたり)●入所対象者/介護認定で要介護と認定された方●居宅介護支援事業所●住所/〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地●TEL/075-572-8207●FAX/075-572-8726●アクセス/地下鉄東西線「石田駅」より徒歩5分



快適な環境と個性の尊重によって生きがいをもった療養生活を支援

医療法人 医仁会

老人保健施設 いわやの里 ※☆☆◎

DATA

●施設長/倉八 博之●入所定員/80名(短期入所者を含む)●通所リハビリ定員/25名(1日あたり)●訪問リハビリテーション●入所対象者/介護認定で要介護と認定された方●住所/〒607-8177 京都市山科区大宅古海道町52●TEL/075-572-1811●FAX/075-572-1880●アクセス/京都市営地下鉄東西線「柳辻駅」下車徒歩約15分、京阪バス「大宅」下車徒歩8分、「橘大学前」下車徒歩3分



「笑い声の間こえる施設」で生きがいのある生活を応援

社会福祉法人 青谷福祉会 軽費老人ホーム ヴィラ城陽 ※☆☆◎

DATA

●施設長/辻 文明●入所定員/50名●居室/個室50室●入所対象者/60歳以上で自立され、家庭環境・住宅事情などの理由により居宅において生活することが困難な方●住所/〒610-0114 京都府城陽市市辺笹原1番地●TEL/0774-55-1875●FAX/0774-54-3321●アクセス/JR奈良線「山城青谷駅」よりタクシー5分、近鉄京都線「大久保駅」「新田辺駅」よりタクシー15分、京阪宇治交通バス「青谷梅林」下車徒歩10分



生涯を通じて安心な老後と自立した生活を応援

社会福祉法人 青谷福祉会 ケアハウス あじさい ※☆☆◎

DATA

●施設長/辻本 弥三郎●ケアハウス/20名●入居対象者/60歳以上(夫婦入居の場合はどちらかが60歳以上)で家庭環境・住宅事情などの理由により居宅において生活することが困難な方●住所/〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3●TEL/0774-76-7607●FAX/0774-76-7802●アクセス/JR関西本線「加茂駅」徒歩2分



生涯を通じて安心な老後と自立した生活を応援

社会福祉法人 悠仁福祉会 ケアハウス やまぶき ※☆☆◎

DATA

●施設長/前川 貴司●ケアハウス/30名●入居対象者/60歳以上(夫婦入居の場合はどちらかが60歳以上)で家庭環境・住宅事情などの理由により居宅において生活することが困難な方●住所/〒611-0021 京都府宇治市宇治里尻36番35●TEL/0774-25-2577●FAX/0774-25-2788●アクセス/JR奈良線「宇治駅」徒歩2分、京阪宇治線「宇治駅」徒歩8分



安心と快適さに満たされた安らぎの生活を目指しています

社会福祉法人 青谷福祉会 ヴィラ山科 ※☆☆◎

DATA

●施設長/長谷川 賢一●入所定員/80名●短期入所定員/10名●通所介護定員/40名●認知症対応型通所介護/12名●居宅介護支援事業所●入所対象者/介護認定で要介護と認定された方●住所/〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1●TEL/075-572-6677●FAX/075-572-6866●アクセス/京都市営地下鉄東西線「柳辻駅」下車徒歩約15分、京阪バス「大宅」下車徒歩8分、京阪バス「京都橘大学」下車徒歩5分

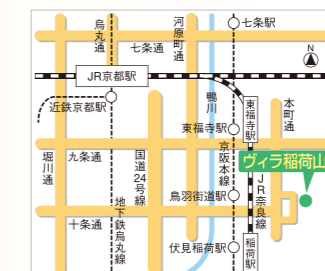


地域高齢者福祉の向上に貢献する総合的な医療・介護エリアの構築をめざしています

社会福祉法人 青谷福祉会 ヴィラ稲荷山 ※☆☆◎

DATA

●施設長/森口 源一●入所定員/100名●短期入所定員/20名●通所介護定員/40名(1日あたり)●居宅介護支援事業所●入所対象者/介護認定で要介護と認定された方●住所/〒612-0801 京都市伏見区深草正覚町23番●TEL/075-561-6550●FAX/075-561-6552●アクセス/京阪電車「鳥羽街道駅」徒歩5分、JR奈良線「東福寺駅」または「稲荷駅」徒歩約10分



「明るく豊かな高齢社会の実現」に貢献する高齢者総合福祉施設

社会福祉法人 悠仁福祉会 ヴィラ鳳凰 ※☆☆◎

DATA

●施設長/前川 貴司●入所定員/80名●短期入所定員/20名●通所介護定員/32名(1日あたり)●居宅介護支援事業所●入所対象者/介護認定で要介護と認定された方●住所/〒611-0021 京都府宇治市宇治里尻36番35●TEL/0774-25-2577●FAX/0774-25-2788●アクセス/JR奈良線「宇治駅」徒歩2分、京阪宇治線「宇治駅」徒歩8分



在宅から施設まで地域の高齢者を支える総合福祉施設

社会福祉法人 青谷福祉会 加茂の里 ※☆☆◎

DATA

●施設長/辻本 弥三郎●入所定員/50名●短期入所定員/20名●通所介護定員/40名(1日あたり)●居宅介護支援事業所●入所対象者/介護認定で要介護と認定された方●住所/〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3●TEL/0774-76-7607●FAX/0774-76-7802●アクセス/JR関西本線「加茂駅」徒歩2分

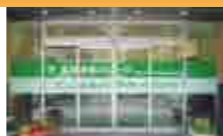


※京都介護福祉サービス第三者評価等支援機構による第三者評価受診施設
☆ISO9001:2008認証
◎きょうと福祉人材育成認証制度「宣言事業所」

デイサービスセンター

社会福祉法人 青谷福祉会 三条小川デイサービスセンター☆◎

DATA ●住所/〒604-8246 京都市中京区小川通三条下ル狸々町124 ●TEL/075-254-1106 ●FAX/075-254-1107
●アクセス/地下鉄烏丸御池駅より徒歩10分/地下鉄二条城前駅より徒歩10分



社会福祉法人 青谷福祉会 ヴィラ稲荷山デイサービスセンター※☆◎

DATA ●住所/〒612-0801 京都市伏見区深草正覚町23番 ●TEL/075-561-6550 ●FAX/075-561-6552
●アクセス/京阪電鉄「烏羽街道駅」徒歩5分/JR奈良線「東福寺駅」または「稲荷駅」徒歩約10分



社会福祉法人 青谷福祉会 ヴィラ山科老人デイサービスセンター※☆◎

DATA ●住所/〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1 ●TEL/075-572-6677 ●FAX/075-572-6866
●アクセス/京阪バス「大宅」停留所より徒歩8分



社会福祉法人 悠仁福祉会 デイサービスセンターヴィラ鳳凰※☆◎

DATA ●住所/〒611-0021 宇治市宇治里尻36-35 ●TEL/0774-25-2577 ●FAX/0774-25-2788
●アクセス/JR奈良線「宇治駅」徒歩2分/京阪宇治線「宇治駅」徒歩8分



社会福祉法人 青谷福祉会 城陽市立東部デイサービスセンター※☆◎

DATA ●住所/〒610-0102 城陽市久世芝ヶ原6番地の2 ●TEL/0774-56-2530 ●FAX/0774-56-2531
●アクセス/近鉄久津川駅より徒歩5分/JR城陽駅より徒歩15分



社会福祉法人 青谷福祉会 デイサービスセンター加茂の里※☆◎

DATA ●住所/〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3 ●TEL/0774-76-7607 ●FAX/0774-76-7802
●アクセス/JR関西本線「加茂駅」前



地域包括支援センター／地域介護予防センター

保健・福祉・医療の向上など
さまざまな課題解決に
取り組む自立支援の拠点

京都市委託事業一覧	地区	事業所名	電話
	下京区	京都市下京区・中部 地域包括支援センター 高齢サポート・下京中部☆ 京都市下京区油小路通下魚棚下る油小路町288番地 井筒堀川ビル1階	075-361-2141
	伏見区	京都市醍醐・南部 地域包括支援センター 高齢サポート・醍醐南部☆◎ 京都市伏見区石田森南町9番地	075-572-6572
	山科区	京都市大宅 地域包括支援センター 高齢サポート・大宅※☆◎ 京都市山科区大宅御所田町115-1	075-572-6660
	下京区	京都市下京区 地域介護予防推進センター 京都市下京区油小路通下魚棚下る油小路町288番地 井筒堀川ビル1階	075-361-1060

※京都市より地域包括支援センターの名称を、より身近な相談窓口として広く知っていただくことを目的として、上記の通り愛称で表記されることになりました。

居宅介護支援事業

介護保険のスペシャリスト、
ご利用者やご家族の心強い味方

京都府指定事業一覧	地区	事業所名	電話
	下京区	武田病院 地域医療連携室 居宅介護支援事業部☆ 京都市下京区油小路通下魚棚下る油小路町288番地 井筒堀川ビル1階	075-361-1536
	南区	十条武田リハビリテーション病院☆ 京都市南区吉祥院八反田町32番地	075-671-2546
	伏見区	白寿 居宅介護支援事業所☆◎ 京都市伏見区石田森南町9番地	075-572-8640
	山科区	ヴィラ山科 居宅介護支援事業所※☆◎ 京都市山科区大宅御所田町115-1	075-572-6806
	宇治市	特別養護老人ホームヴィラ鳳凰※☆◎ 宇治市宇治里尻36番地35	0774-25-2675
	木津川市	加茂町在宅介護支援センター・加茂の里※☆◎ 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3	0774-76-8294
	伏見区	ヴィラ稲荷山居宅介護支援事業所◎ 京都市伏見区深草正覚町23番	075-561-6550

訪問看護ステーション

医療法人財団 康生会 柳馬場訪問看護ステーション☆

DATA ●住所/〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町407番地 シティハウス407 1F
●TEL/075-212-7266 ●FAX/075-212-7321



医療法人財団 医道会 十条訪問看護ステーション☆

DATA ●住所/〒601-8325 京都市南区吉祥院八反田町32番地
●TEL/075-671-2415 ●FAX/075-671-2435



医療法人 医仁会 おもいやり訪問看護ステーション☆◎

DATA ●住所/〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地
●TEL/075-574-1621 ●FAX/075-574-1622



社会福祉法人 青谷福祉会 訪問看護ステーションあじさい※☆◎

DATA ●住所/〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東二丁目2番地1 ユニ加茂老番館 (JR加茂駅前)
●TEL/0774-76-0233 ●FAX/0774-76-8461



住み慣れた我が家での療養や介護を支援

訪問介護ステーション／ホームヘルプサービス

医療法人財団 康生会 たけだホームヘルプサービス☆

DATA ●住所/〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町407番地 シティハウス407 1F
●TEL/075-211-5999 ●FAX/075-213-2217



社会福祉法人 青谷福祉会 訪問介護ステーションヴィラ山科※☆◎

DATA ●住所/〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1
●TEL/075-575-5252 ●FAX/075-575-5055



社会福祉法人 青谷福祉会 訪問介護ステーションヴィラ城陽※☆◎

DATA ●住所/〒610-0114 京都府城陽市市辺世原1番地
●TEL/0774-55-1875 ●FAX/0774-54-3321



社会福祉法人 青谷福祉会 訪問介護ステーション加茂の里※☆◎

DATA ●住所/〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東二丁目2番地1 ユニ加茂老番館 (JR加茂駅前)
●TEL/0774-76-0233 ●FAX/0774-76-8461



※京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構による第三者評価受診施設
☆ISO9001:2008認証
◎きょうと福祉人材育成認証制度「宣言事業所」

1200年間も都であった京都には、国を司る宮中、公家や武家、華やかな文化や芸能、それらを支える商家と多くの庶民が暮らしました。傷病死は人の常で、医学も京都で発展していく数々の証左が今に残っています。そんな『京都の医療史跡』を訪ねます。

京の蘭学の祖 小石元俊 元瑞

西欧医学導入の基礎となる蘭学を京都など西日本に広げた小石元俊(寛保3:1743年~文化5:1808年)をはじめ、2代目元瑞から現在の9代まで、途切れることなく庶民の医家としてつくづく小石家は、江戸後期から幕末、明治にかけての京都医学の柱としての存在でした。



小石元俊の肖像
吉村孝敬画

小石家の祖は、代々、若狭小浜藩の家老職でしたが、元俊の父・林野(はやの)市之進は脱藩、小石李伯と改名し、諸国流浪中に丹後・柴原家の佐代と結ばれ、山城国桂村(現・西京区)で生まれたのが元俊です。「脱藩の際、殿様から得た金品は、同道した50人の家臣に全て与えたため極貧で、後に長男の元瑞がまとめた『行状』には、『父・元俊が足袋を履けるようになったのは40歳の時だった』とあるほどですから、よほど貧しかったんでしょね」と、9代元紹さん(小石医院院長)と母ナカさん(元院長)は話します。

文書を読み、「今の世に人を救うは医の他になし」と、10歳で、宝暦4(1754)年にわが国初の「観臓」解剖を行った山脇東洋門下の淡輪元潜(柳川藩医)に師事。さらに20歳の時に、二代の英傑と称された大阪の医師、永富独嘯庵(とくしやうあん)に付き、「医理は和蘭(オランダ)医学にあり」との教えに、陰陽五行説に基づく旧態医学に強い疑問を抱きます。元俊は東洋の孫弟子として、人体解剖への立ち会いや主導的立場にもあり、医師としての名声は各地に広がっていきました。そんな安永3(1774)年に、杉田玄白の『解体新書』が発刊され、矢も盾もたまらず江戸に出向き、玄白や前野良沢らに直接会って蘭医学や解剖論を聞かせました。元紹院長は、「元俊は、玄白が京都へ来た時には宿へ出向いて毎日討論、玄白が出かけると出先まで押しかけていったそうです」とのエピソードを披露してくれました。

元俊は東洋の孫弟子として、人体解剖への立ち会いや主導的立場にもあり、医師としての名声は各地に広がっていきました。そんな安永3(1774)年に、杉田玄白の『解体新書』が発刊され、矢も盾もたまらず江戸に出向き、玄白や前野良沢らに直接会って蘭医学や解剖論を聞かせました。元紹院長は、「元俊は、玄白が京都へ来た時には宿へ出向いて毎日討論、玄白が出かけると出先まで押しかけていったそうです」とのエピソードを披露してくれました。



心臓の細部まで描いた人体解剖「平郎臓図」



女性刑死者の解剖図

写生させます。手足の臑、頭蓋内や胆肝腎臓、心臓の冠動脈などきめ細かく描かれているほか、罪人の持病(脚気の疑い)まで指摘(診断)しているのも特徴です。

親子とも文雅の人で、元俊は儒学者の皆川淇園や頼春水と並ぶ三傑と称されました。元瑞は学識、文才ともに優れていたほか、豪放磊落であつたことから、頼春水の息子の陽明学者・頼山陽、画家・篠崎小竹、小田海樞(おだかいせん)・三筆と称された貫名海屋(ぬきなかいおく)、文人画家で煎茶人の田能村竹田、木村兼葭堂、山本梅逸、浦上玉堂、岡田半江、青木木米、細川林谷らが元瑞の周囲に集い、元瑞宅はサロンの様相でした。



元俊の究理堂を継ぐ現在の小石医院

元紹院長の話では、究理堂には頼山陽や、「天保の乱」の大塩平八郎らのカルテや「門人帳」、「疫論」(元瑞著)など多数の著書が現存しており、「地方の蘭学研究のために重要な資料になっています。これらの史料を継承するのが私たちの役目です」と語っておられました。

武田病院グループ 平成24年度の受賞

武田隆久理事長 介護老人保健施設事業功労者 厚生労働大臣表彰
武田道子副理事長 京都府青少年健全育成成功功労者 知事表彰

平成24年10月4日、沖縄コンベンションセンターで、武田隆久理事長が「介護老人保健施設事業功労者厚生労働大臣表彰」を受賞しました。

武田病院グループの取り組みが、介護老人保健施設関係事業の発展向上への貢献等が認められたものです。

さらに11月25日には京都府公館レセプションホールで、武田道子副理事長が「京都府青少年健全育成成功功労者等知事表彰」を受賞しました。

これは、「ボランティアとしてだけでなく医師・ソロプチミストとして、働き学ぶ少年少女に愛情を持って援助や指導に取り組み、事業の推進・青少年の育成に大きく貢献した」と府から表彰を戴いたものです。

武田病院グループでは今回の受賞を機に、さらなる地域社会への貢献をめざし邁進してまいります。



介護老人保健施設事業功労者 厚生労働大臣表彰



京都府青少年健全育成成功功労者 知事表彰

編集後記

今号のタケダトピックスでもお伝えしておりますが、康生会武田病院に脳卒中センターを開設いたしました。4月21日には、市民公開講座「脳卒中にならない、脳卒中に負けない2013」をシルクホールで開催し、疾患の正しい知識の大切さと、専門の施設による早期治療の重要性をご説明させて頂きました。当グループでは、健康で安心して暮らせる地域づくりに貢献できるよう、今後も努力を続けてまいります。皆様のご指導、ご協力を宜しく願います。

「たけだ通信」編集室



<http://www.takedahp.or.jp/>

■編集委員/石田真志・井上孝紀・今井 優・榎本達也
勝山麻帆・小谷昌弘・小林啓治・鈴木基夫
土屋賢生・中田夏南子・西村正樹・水野孝子
水口善夫・山田佳之

たけだ [第102号]

●発行人/武田隆男
●発行所/京都市下京区塩小路通西洞院東入ル
医療法人財団康生会武田病院
TEL 075-361-1351(代)

●編集人/「たけだ通信」編集室
●発行日/平成25年6月1日
●制作/(株)日本医療企画